



神奈川県
鎌倉保健福祉事務所

鎌倉保健福祉事務所年報

2018(平成30)年度

神奈川県鎌倉保健福祉事務所

目 次

第1章 概要

1 鎌倉保健福祉事務所の概要	1
(1) 沿革	1
(2) 所管区域	2
(3) 機構及び分掌事務	3
(4) 職種別職員配置状況	4
(5) 施設の状況	4
(6) 経理状況	5
2 圏域の概要	6
(1) 圏域区域	6
(2) 面積及び人口等	6
(3) 人口の推移	6
(4) 5歳階級別人口	7
(5) 年齢(3区分)別人口及び構成比	8
(6) 保健医療・福祉関係施設数	9

第2章 管理課

1 表彰	10
(1) 神奈川県保健衛生表彰(知事)	10
(2) 神奈川県保健衛生表彰(保健福祉事務所長)	10
(3) 神奈川県献血推進功労者表彰(知事)	10
(4) 神奈川県献血推進功労者表彰(保健福祉事務所長)	10
2 免許事務取扱い件数	11

第3章 企画調整課

企画調整課業務	12
1 保健・医療・福祉施策に関する総合的企画調整	13
(1) 三浦半島地区保健医療福祉推進会議	13
(2) 三浦半島地区地域・職域連携推進会議	13
(3) 横須賀・三浦地域災害医療対策会議	14
(4) 保健福祉サービス連携調整会議	14
(5) 地域包括ケア・在宅医療推進連絡会議	14
(6) 地域保健師業務連絡会議	15
(7) 保健師活動実績	16
2 保健・医療・福祉に関する情報提供	17
(1) 市町広報紙・地域FM放送等による情報提供	17
(2) 鎌倉保健福祉事務所広報媒体による情報提供	17
3 保健・福祉人材の育成	18
(1) 保健衛生研修	18
(2) 実習生指導等	18
4 保健統計等	19

(1) 人口動態調査	19
(2) 衛生行政報告例(母体保護に関する統計部分)	19
(3) 医療施設動態調査	19
(4) 医師・歯科医師・薬剤師届出	19
(5) 業務従事者届	19
(6) 病院報告	19
(7) 地域保健・健康増進事業報告	19
5 医務・献血関係	20
(1) 医療施設数・人口10万対率(市町別)	20
(2) 医療施設数・人口10万対率年次推移	20
(3) 病床数・人口10万対率(市町別)	21
(4) 病床数・人口10万対率年次推移	21
(5) 医務関係許可等取扱い件数	22
(6) 立入検査	22
(7) 医療従事者数・人口10万対率(市町別)	22
(8) 献血数・目標数(市町別)	23
(9) 年次別献血数・目標数	23
6 受動喫煙防止条例に関する普及啓発等	24
(1) 受動喫煙防止条例に係る普及啓発	24
(2) 地域禁煙サポート推進事業	24

第4章 保健福祉課

保健福祉課業務	25
1 母子保健	27
(1) 思春期保健事業	27
(2) 生涯を通じた女性の保健相談等事業	28
(3) 不妊に悩む方への特定治療支援事業	29
(4) 小児医療援護	29
(5) 養育支援事業	30
(6) 保健福祉サービス連携調整会議(母子保健委員会)	31
(7) 母子保健事業連絡会	31
2 健康増進・がん対策	32
(1) がん検診普及啓発セミナー	32
(2) 地域企業におけるがん検診受診促進事業	32
(3) 健康増進評価事業	33
(4) 保健医療データ活用事業(地区別研修会)	33
3 栄養・食生活対策	34
(1) 特定給食等指導事業	34
(2) 栄養・食生活施策の企画・運営	35
(3) 地域・医療・福祉・介護領域と連携した栄養・食生活支援体制づくり	35
(4) 専門的栄養指導・食生活支援事業	36
(5) 栄養表示等普及啓発及び活用推進事業	36
4 歯科保健	37
(1) 保健福祉サービス連携調整会議(歯及び口腔の健康づくり推進委員会)	37

(2)	重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業	37
(3)	障害児者等歯科保健事業	37
(4)	歯周病予防対策事業	38
(5)	在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業	38
(6)	歯の健康づくり事業	39
(7)	8020 運動推進員養成事業	39
(8)	災害時歯科口腔保健対応対策事業	40
(9)	歯科健康教育	40
(10)	人材の育成（歯科保健に関する研修・講習会）	40
(11)	その他	40
5	地域福祉	41
(1)	民生委員・児童委員の活動	41
(2)	障害福祉相談員の研修	41
(3)	地域福祉の人材育成	41
(4)	成年後見制度普及啓発事業	42
(5)	バリアフリーの街づくり普及啓発事業	42
(6)	横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会の支援	42
(7)	管内市町等への支援	43
6	介護保険	44
(1)	介護保険指定事業者指導等事業	44
(2)	事業者実地指導担当者連絡会議	44
7	生活福祉	45
(1)	生活保護業務	45
(2)	特別障害者手当等の支給状況	46
(3)	母子福祉資金等の貸付	47
(4)	母子・父子自立支援員の設置	48
(5)	関連する業務	48
8	福祉統計	49

第5章 保健予防課

保健予防課業務	50
1 結核予防	51
(1) 健康診断	51
(2) 保健指導	51
(3) 結核医療従事者研修	51
(4) 巡回型結核研修	51
(5) 結核コホート検討会	51
(6) 結核患者の状況	52
(7) 感染症診査協議会・結核部会	53
2 感染症予防	54
(1) 全数把握対象疾患情報（結核は除く）	54
(2) 感染症施設集団発生報告	55
(3) 集団かぜ（インフルエンザ）による臨時休業状況（延べ数）	55
(4) 感染症予防対応研修	55

(5) 肝疾患対策	55
3 エイズ予防	56
(1) HIV、梅毒相談・検査	56
(2) エイズ性感染症予防普及事業	56
4 難病対策	57
(1) 特定疾患医療給付	57
(2) 指定難病医療費助成	57
(3) 相談	57
(4) 訪問指導	57
(5) 医療相談等	57
(6) 難病対策地域協議会	57
(7) 従事者研修	58
5 原爆被爆者援護	59
(1) 被爆者健康手帳等交付状況	59
(2) 被爆者等定期健康診断受診状況	59
6 認知症対策	59
(1) 相談事業	59
(2) 訪問指導	59
(3) 処遇困難事例検討事業	60
(4) 地域支援	60
7 精神保健福祉	61
(1) 相談・訪問指導	61
(2) 教育広報活動	62
(3) 団体支援及び連携	62
(4) 社会復帰の支援	62
(5) 精神保健福祉業務（法定業務）	63
(6) 会議	63
(7) こころといのちのサポート事業	65

第6章 環境衛生課

環境衛生課業務	66
1 生活衛生関係営業施設等の衛生確保	67
(1) 生活衛生関係営業施設数及び監視指導状況	67
(2) 水浴場等施設数及び監視指導状況	67
(3) 講習会開催状況	67
(4) 免許事務取扱い件数	67
(5) 海水浴場の水質検査実施状況	68
2 生活環境施設等の衛生確保	69
(1) 浄化槽設置基数及び監視指導状況	69
(2) 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況	69
(3) 特定建築物施設数及び監視指導状況	69
(4) 建築物登録業営業所数及び監視指導状況	70
(5) 水道施設数及び監視指導状況	70
(6) 住まいと環境衛生の推進	70

(7) 温泉施設数及び監視指導状況	70
3 動物保護対策	71
(1) 飼えなくなった犬、猫の引き取り	71
(2) こう傷事故の発生状況	71
(3) 犬、猫等の苦情相談の処理状況	71
(参考事項) 市町の犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況	71
4 医薬品等の安全性確保	72
(1) 薬局・医薬品販売業等施設数及び監視指導状況	72
(2) 薬局・医薬品販売業等許可・届出取扱い件数	72
(3) 毒物・劇物販売業等施設数及び監視指導状況	72
(4) 毒物・劇物販売業等登録・届出取扱い件数	73
(5) 麻薬等業務所数及び監視指導状況	73
(6) 麻薬免許事務等取扱い件数	73
(7) 覚せい剤取扱者数及び監視指導状況	74
(8) 覚せい剤指定事務等取扱い件数	74
(9) 薬物乱用防止啓発活動	74

第7章 食品衛生課

食品衛生課業務	76
1 食品営業施設の許認可事務及び監視指導	77
(1) 許可を要する営業施設	77
(2) 許可を要しない営業施設	78
(3) 営業施設数の年度別推移(5年間)	78
(4) 調理師免許等関係事務の取扱い	78
2 食品等の収去検査	79
(1) 食品等の品目別検査結果	79
(2) 検体数及び不適検体数の年度別推移(5年間)	79
3 普及啓発の実施	80
4 食中毒等の処理	80
5 食品関係等の苦情処理	80
(1) 食品等の苦情処理	80
(2) 苦情処理件数の年度別推移(5年間)	80

<資料>

1 人口動態統計	81
2 出生統計	86
3 死亡統計	94
4 福祉統計	104
5 神奈川県公衆衛生協会会長表彰	107
6 神奈川県公衆衛生協会鎌倉支部長表彰	107
7 職員の研究・学会等発表	108

※ 表の時点について特に付記のないものは、平成31年3月31日現在です。

第 1 章 概 要

1 鎌倉保健福祉事務所の概要

(1) 沿革

ア 鎌倉保健所

- 1944 (昭和 19) 年 10 月 逓信省簡易保険鎌倉健康相談所 (鎌倉市大町久保 27-1、通称琵琶小路、現鎌倉市由比ガ浜 2-3-11 鎌倉市授産所) の廃止に伴い、その施設を継承し、神奈川県鎌倉保健所として発足し、業務を開始。所管区域は、鎌倉市と鎌倉郡 (深沢村、大船町、片瀬町)。
- 1948 (昭和 23) 年 6 月 鎌倉郡が鎌倉、藤沢両市に分割併合され、鎌倉市を所管。
(深沢村は昭和 23 年 1 月、大船町は昭和 23 年 6 月鎌倉市に編入、片瀬町は昭和 22 年 4 月藤沢市に編入。)
- 1949 (昭和 24) 年 7 月 三浦郡葉山町が町民の要望により、三崎保健所の所管区域から鎌倉保健所の所管区域となる。
- 1950 (昭和 25) 年 7 月 逗子が横須賀市から分離し、三浦郡逗子町となり、鎌倉保健所の所管区域となる。
- 1951 (昭和 26) 年 10 月 神奈川県保健所整備拡充計画に基づき、鎌倉市乱橋材木座 1219 (現由比ガ浜 2-16-13) に新築移転。
- 1953 (昭和 28) 年 10 月 課制が施行され、総務課、衛生課、保健予防課を設置。
- 1953 (昭和 28) 年 11 月 葉山支所を葉山町一色 2017 に設置。
- 1963 (昭和 38) 年 3 月 庁舎を改築。
- 1969 (昭和 44) 年 7 月 総務課が管理課に改称。
- 1970 (昭和 45) 年 7 月 次長制を施行するとともに、保健予防課から保健婦業務を分離し、保健婦室を設置。
- 1974 (昭和 49) 年 8 月 衛生課を 2 課に分割し、環境衛生課と食品衛生課を設置。
- 1977 (昭和 52) 年 4 月 逗子市桜山 6-12-22 に逗子保健ステーションを設置。
- 1983 (昭和 58) 年 6 月 保健婦室を廃止し、健康指導課を設置。
- 1985 (昭和 60) 年 4 月 保健所試験検査業務集中処理の実施に伴い、鎌倉保健所の試験検査業務を藤沢保健所に集中し、鎌倉保健所の試験検査業務は廃止。
- 1987 (昭和 62) 年 11 月 葉山支所の庁舎を葉山町一色 1503-2 に新築し、移転。
- 1989 (平成元) 年 4 月 逗子保健ステーションを逗子市に移管。
- 1993 (平成 5) 年 4 月 部制が施行され、保健衛生部、環境衛生部の 2 部 4 課及び管理課となり、次長が副所長となる。
- 1997 (平成 9) 年 3 月 葉山支所を廃止。
- 1997 (平成 9) 年 4 月 横須賀三浦地区行政センター福祉部の一部を統合し、鎌倉保健福祉事務所として設置。管理課、企画調整室、保健福祉部 (保健福祉課、保健予防課)、生活衛生部 (環境衛生課、食品衛生課) の 2 部 1 室 5 課体制となる。
- 2007 (平成 19) 年 6 月 行政組織規則の一部改正により、企画調整室が企画調整課となり、2 部 6 課体制となる。
- 2008 (平成 20) 年 4 月 行政機関設置条例および行政組織規則の一部改正により、保健福祉事務所、保健所、福祉事務所が統合され、保健福祉事務所となる。
- 2014 (平成 26) 年 4 月 行政機関設置条例および行政組織規則の一部改正により、鎌倉保健福祉事務所と三崎保健福祉事務所が統合され、鎌倉保健福祉事務所となる。また、支所として鎌倉保健福祉事務所三崎センターが設置される。

イ 福祉事務所

- 1951（昭和 26）年 10 月 社会福祉事業法の施行に伴い、三浦郡（三浦町、逗子町、葉山町）を所管区域とし、三浦福祉事務所が三浦地方事務所内（三浦町六合 3570）に設置され、所長（地方事務所長兼務）のほか次長がおかれ、庶務課、保護課の 2 課制で発足。
- 1955（昭和 30）年 7 月 三浦福祉事務所が廃止され、三浦郡葉山町は（逗子町は昭和 29 年 4 月、三浦町は昭和 30 年 1 月市制施行）中福祉事務所（平塚市平塚 1713）の所管区域となる。
また、次長制が廃止され、保護課が福祉課に改称。
- 1967（昭和 42）年 6 月 次長制が復活され庶務課が総務課に、福祉課が保護課に改称。
- 1969（昭和 44）年 7 月 中福祉事務所が湘南福祉事務所に改称され、事務所は平塚市西八幡 1-3-1、合同庁舎に移転。
また、所長は地方事務所長の兼務から専任所長制になり、総務課が管理課に改称。
- 1974（昭和 49）年 8 月 管理課に管理係、保護課に保護係、福祉係が置かれ、2 課 3 係制となる。
- 1981（昭和 56）年 6 月 保護課が福祉課に改称され、保護係、福祉係の 2 係制が廃止。
- 1982（昭和 57）年 6 月 管理課の管理係が廃止。
- 1985（昭和 60）年 4 月 横須賀三浦地区行政センターに福祉部が設置されるとともに、葉山福祉事務所が同行政センターの付置機関として設置され、三浦郡（葉山町）は葉山福祉事務所の所管区域となる。
また、葉山福祉事務所は同行政センター福祉部におかれ、所長は同行政センター所長の兼務となる。
- 1997（平成 9）年 4 月 横須賀三浦地区行政センター福祉部の一部と鎌倉保健所との統合により葉山福祉事務所は鎌倉保健福祉事務所に併置され、所長は鎌倉保健福祉事務所長の兼務となる。
- 2007（平成 19）年 6 月 行政組織規則の一部改正により、企画調整室が企画調整課となり、2 部 6 課体制となる。
- 2008（平成 20）年 4 月 行政機関設置条例および行政組織規則の一部改正により、保健福祉事務所、保健所、福祉事務所が統合され、保健福祉事務所となる。

（2）所管区域

ア 三浦半島地区に関する保健福祉にかかる総合調整、福祉関連事業

横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町の 4 市 1 町

イ 保健所業務

鎌倉市、逗子市、葉山町の 2 市 1 町

（三浦市は鎌倉保健福祉事務所三崎センター、保健所政令市である横須賀市は横須賀市保健所が所管）

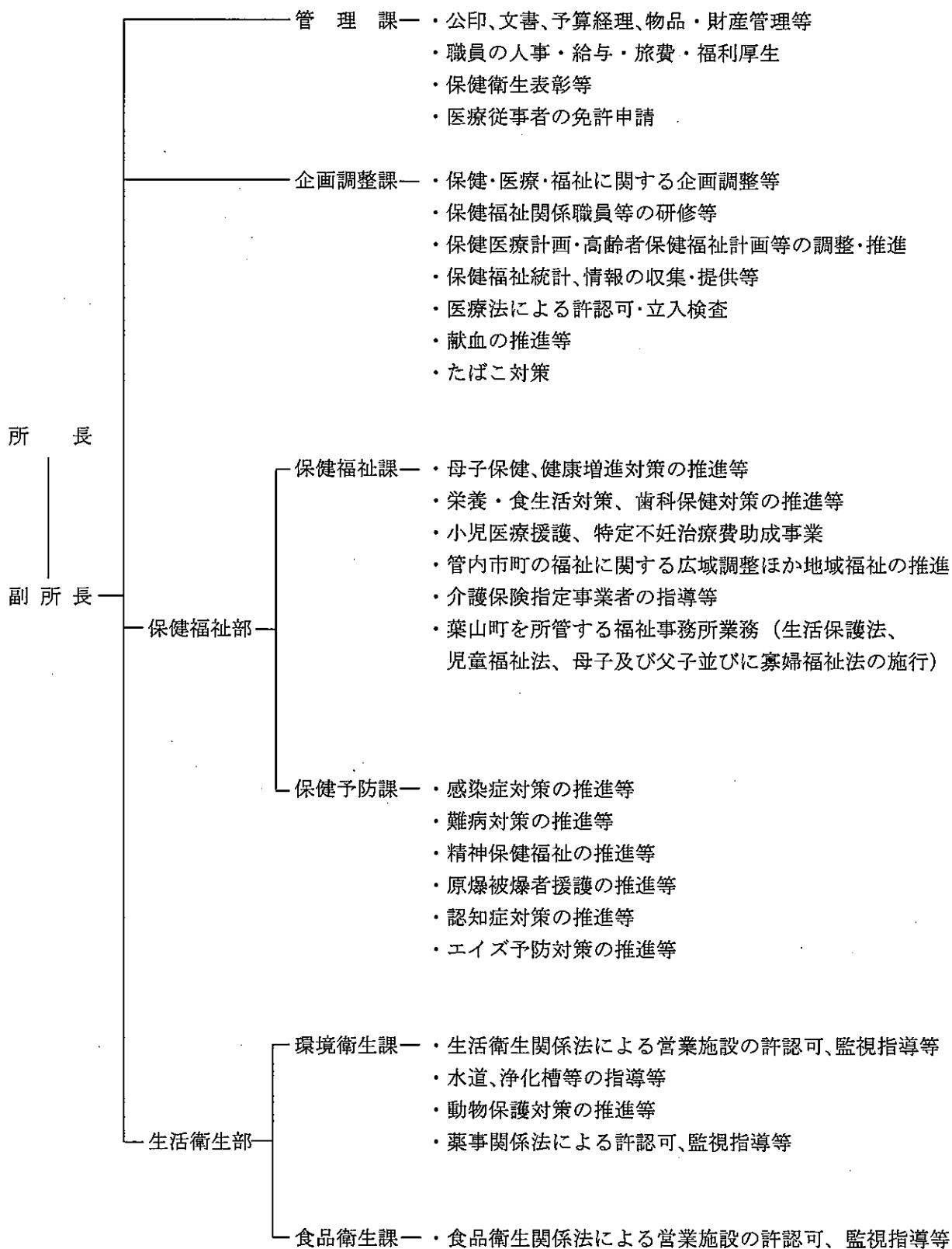
ウ 生活福祉業務

葉山町

エ 神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例関係

横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町の 4 市 1 町

(3) 機構及び分掌事務



(4) 職種別職員配置状況

2018 (平成 30) 年 4 月 16 日現在

職 種	一 般 事 務 職	福 祉 職	医 師	歯 科 医 師	診 療 放 射 線 技 師	歯 科 衛 生 士	栄 養 士	保 健 師	狂 犬 病 予 防 員	衛 生 監 視 員	臨 時 的 任 用 職 員	再 任 用 職 員		非 常 勤 職 員	計
職員数	15	6	2	1	1	1	1	10	1	11	0	5		13	67

(5) 施設の状況

所在地	鎌倉市由比ガ浜 2-16-13	
土地	面積	1,546.36 m ²
	取得年月日	1952 (昭和 27) 年 9 月 10 日
建物	構造	本館 鉄筋コンクリート 車庫他 コンクリートブロック他
	規模	本館 地下 1 階地上 3 階 車庫他 平屋 4 棟
	面積	本館 1,318.22 m ² 車庫他 72.26 m ²
	取得年月日	本館 1963 (昭和 38) 年 3 月 30 日 車庫他 1963 (昭和 38) 年 3 月 30 日

(6) 経理状況

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
計	23,838,795	計	216,393,443
一般会計	23,838,795	一般会計	216,393,443
使用料	23,539	総務管理費	13,129,437
衛生使用料	23,539	一般管理費	11,805,357
手数料	16,038,770	財産管理費	1,324,080
衛生手数料	16,038,770	社会福祉費	27,684,860
財産運用収入	516,312	社会福祉総務費	27,613,860
財産貸付収入	516,312	遺家族等援護費	71,000
寄附金	1,799	児童福祉費	5,059,119
衛生費指定寄附金	1,799	児童福祉総務費	363,989
立替収入	41,174	児童措置費	3,503,348
衛生立替収入	41,174	母子福祉費	1,191,782
雑入	7,217,201	障害福祉費	4,336,969
雑入	7,217,201	障害福祉総務費	4,336,969
		老人福祉費	431,204
		老人保健福祉総務費	276,894
		介護保険事業費	154,310
		生活保護費	130,265,189
		生活保護総務費	5,380,815
		扶助費	124,884,374
		公衆衛生費	6,374,947
		公衆衛生総務費	1,309,025
		予防費	3,470,091
		精神保健福祉費	966,351
		生活習慣病対策費	218,000
		衛生研究所費	411,480
		環境衛生費	954,874
		生活衛生指導費	954,874
		保健所費	20,877,994
		保健所費	20,877,994
		医薬費	1,958,040
		医務費	1,555,622
		薬務費	402,418
		環境保全対策費	5,320,810
		廃棄物対策費	5,320,810

2 圏域の概要

(1) 圏域区域



(2) 面積及び人口等

2018(平成30)年10月1日現在

市町名	面積 (km ²)	人口 (人)			世帯数 (世帯)	一世帯 当たり 人数 (人)	人口密度 (人/km ²)	一年間の 人口増 (人)
		男	女	計				
横須賀市	100.82	198,455	199,163	397,618	167,266	2.38	3,944 ▲ 3,291	
鎌倉市	39.67	81,040	91,266	172,306	74,287	2.32	4,343 22	
逗子市	17.28	26,697	30,428	57,125	24,567	2.33	3,306 ▲ 314	
三浦市	32.05	20,713	22,450	43,163	17,482	2.47	1,347 ▲ 714	
葉山町	17.04	15,059	16,799	31,858	12,687	2.51	1,870 ▲ 106	
計	206.86	341,964	360,106	702,070	296,289	2.37	3,394 ▲ 4,403	
神奈川県	2,416.16	4,577,252	4,602,583	9,179,835	4,112,898	2.23	3,799 18,696	

県勢要覧・神奈川県人口統計調査

(3) 人口の推移

各年10月1日現在

年次別	横須賀市		鎌倉市		逗子市		三浦市		葉山町		計	
	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率
2009年 (平成21)	419,838	▲ 0.2	174,164	0.4	58,738	0.1	48,671	▲ 0.7	32,389	0.5	733,800	0.0
2010年 (平成22)	418,325	▲ 0.4	174,314	0.1	58,302	▲ 0.7	48,352	▲ 0.7	32,766	1.2	732,059	▲ 0.2
2011年 (平成23)	416,252	▲ 0.5	174,250	0.0	58,323	0.0	47,880	▲ 1.0	32,861	0.3	729,566	▲ 0.3
2012年 (平成24)	413,302	▲ 0.7	174,162	▲ 0.1	57,983	▲ 0.6	47,141	▲ 1.5	32,813	▲ 0.1	725,401	▲ 0.6
2013年 (平成25)	410,090	▲ 0.8	173,523	▲ 0.4	57,859	▲ 0.2	46,440	▲ 1.5	32,545	▲ 0.8	720,457	▲ 0.7
2014年 (平成26)	407,240	▲ 0.7	173,530	0.0	57,729	▲ 0.2	45,748	▲ 1.5	32,478	▲ 0.2	716,725	▲ 0.5
2015年 (平成27)	406,686	▲ 0.1	172,902	▲ 0.4	56,492	▲ 2.1	45,302	▲ 1.0	32,104	▲ 1.2	713,486	▲ 0.5
2016年 (平成28)	403,730	▲ 0.7	172,337	▲ 0.3	57,556	1.9	44,651	▲ 1.4	32,101	0.0	710,375	▲ 0.4
2017年 (平成29)	400,909	▲ 0.7	172,284	0.0	57,439	▲ 0.2	43,877	▲ 1.7	31,964	▲ 0.4	706,473	▲ 0.5
2018年 (平成30)	397,618	▲ 0.8	172,306	0.0	57,125	▲ 0.5	43,163	▲ 1.6	31,858	▲ 0.3	702,070	▲ 0.6

神奈川県人口統計調査

(4) 5歳階級別人口

2018(平成30)年1月1日現在

市町名		0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
横須賀市	男	6,619	7,494	8,459	11,237	11,286	9,738	10,249	11,361	14,764
	女	6,441	7,163	8,021	9,106	8,824	8,147	8,859	10,309	13,644
	計	13,060	14,657	16,480	20,343	20,110	17,885	19,108	21,670	28,408
鎌倉市	男	2,959	3,537	3,746	3,768	3,313	2,937	3,584	4,588	6,342
	女	2,813	3,365	3,689	3,741	3,481	3,118	3,792	4,939	6,766
	計	5,772	6,902	7,435	7,509	6,794	6,055	7,376	9,527	13,108
逗子市	男	994	1,168	1,212	1,337	1,068	853	1,054	1,451	2,146
	女	1,026	1,127	1,163	1,286	1,084	922	1,240	1,662	2,236
	計	2,020	2,295	2,375	2,623	2,152	1,775	2,294	3,113	4,382
三浦市	男	554	640	831	947	885	791	860	989	1,303
	女	497	641	772	914	892	756	826	979	1,234
	計	1,051	1,281	1,603	1,861	1,777	1,547	1,686	1,968	2,537
葉山町	男	605	755	756	795	510	341	450	754	1,153
	女	514	693	764	756	551	383	538	851	1,317
	計	1,119	1,448	1,520	1,551	1,061	724	988	1,605	2,470
4市1町計	男	11,731	13,594	15,004	18,084	17,062	14,660	16,197	19,143	25,708
	女	11,291	12,989	14,409	15,803	14,832	13,326	15,255	18,740	25,197
	計	23,022	26,583	29,413	33,887	31,894	27,986	31,452	37,883	50,905
神奈川県	男	182,617	191,808	197,434	215,620	263,878	250,476	275,555	307,010	371,456
	女	174,081	183,326	187,773	205,473	240,408	229,627	257,185	289,941	351,908
	計	356,698	375,134	385,207	421,093	504,286	480,103	532,740	596,951	723,364

市町名		45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	計
横須賀市	男	16,069	13,285	11,740	11,574	15,568	13,619	11,720	13,865	199,598
	女	14,826	12,617	11,358	11,734	16,843	15,822	13,728	22,689	200,623
	計	30,895	25,902	23,098	23,308	32,411	29,441	25,448	36,554	400,221
鎌倉市	男	7,395	6,515	5,279	4,449	5,660	5,302	4,638	6,906	81,125
	女	7,791	6,473	5,156	4,767	6,714	6,672	6,120	11,457	91,004
	計	15,186	12,988	10,435	9,216	12,374	11,974	10,758	18,363	172,129
逗子市	男	2,337	2,155	1,768	1,511	1,967	1,799	1,607	2,295	26,803
	女	2,559	2,169	1,841	1,661	2,235	2,316	2,075	3,856	30,558
	計	4,896	4,324	3,609	3,172	4,202	4,115	3,682	6,151	57,361
三浦市	男	1,538	1,428	1,339	1,554	2,215	1,781	1,458	1,873	21,000
	女	1,503	1,346	1,374	1,648	2,192	1,969	1,813	3,359	22,723
	計	3,041	2,774	2,713	3,202	4,407	3,750	3,271	5,232	43,723
葉山町	男	1,317	1,211	919	828	1,065	1,075	931	1,245	15,081
	女	1,483	1,165	949	878	1,283	1,349	1,151	1,919	16,849
	計	2,800	2,376	1,868	1,706	2,348	2,424	2,082	3,164	31,930
4市1町計	男	28,656	24,594	21,045	19,916	26,475	23,576	20,354	26,184	343,607
	女	28,162	23,770	20,678	20,688	29,267	28,128	24,887	43,280	361,757
	計	56,818	48,364	41,723	40,604	55,742	51,704	45,241	69,464	705,364
神奈川県	男	396,968	340,984	274,749	244,181	304,617	252,109	209,151	242,691	4,570,674
	女	374,917	312,693	258,176	242,365	322,137	283,364	247,239	398,436	4,592,605
	計	771,885	653,677	532,925	486,546	626,754	535,473	456,390	641,127	9,163,279

(注) 計には「年齢不詳」を含む。

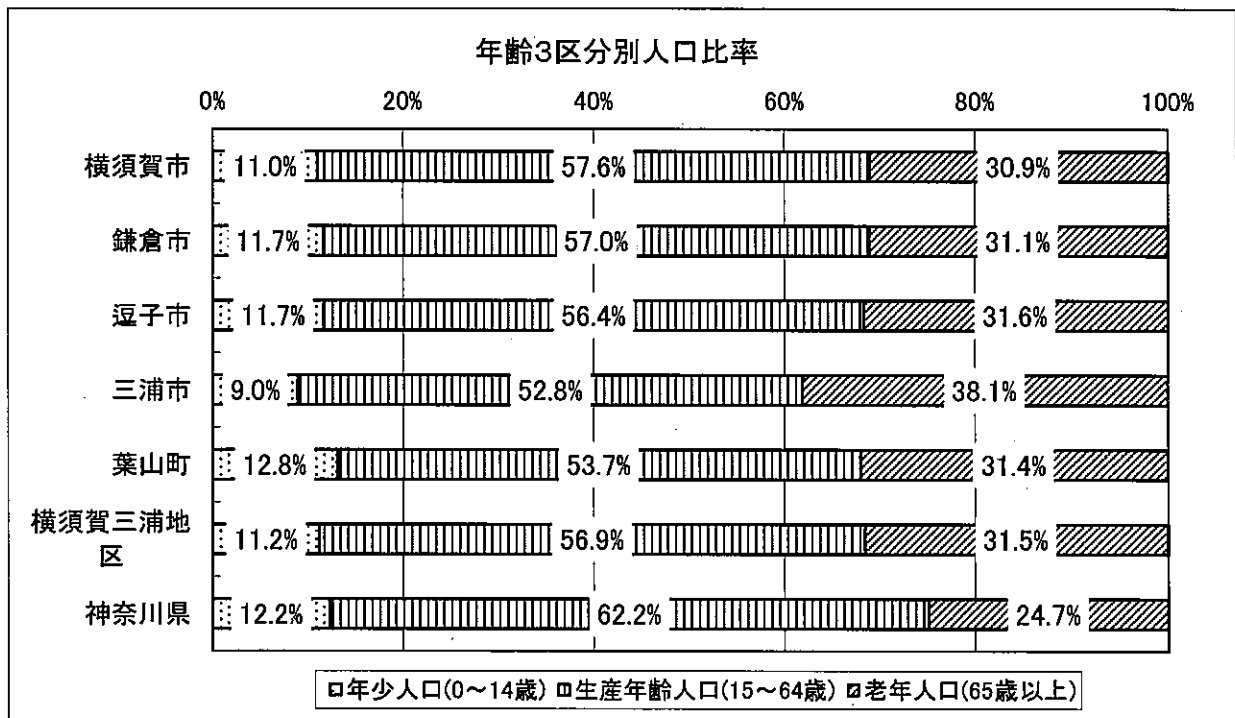
神奈川県年齢別人口統計調査結果報告

(5) 年齢(3区分) 別人口及び構成比

2018(平成30)年1月1日現在

団体名		年少人口(0~14歳)		生産年齢人口(15~64歳)		老年人口(65歳以上)		計
		数	率	数	率	数	率	
横須賀市	男	22,572	11.3%	121,303	60.8%	54,772	27.4%	199,598
	女	21,625	10.8%	109,424	54.5%	69,082	34.4%	
	計	44,197	11.0%	230,727	57.6%	123,854	30.9%	
鎌倉市	男	10,242	12.6%	48,170	59.4%	22,506	27.7%	81,125
	女	9,867	10.8%	50,024	55.0%	30,963	34.0%	
	計	20,109	11.7%	98,194	57.0%	53,469	31.1%	
逗子市	男	3,374	12.6%	15,680	58.5%	7,668	28.6%	26,803
	女	3,316	10.9%	16,660	54.5%	10,482	34.3%	
	計	6,690	11.7%	32,340	56.4%	18,150	31.6%	
三浦市	男	2,025	9.6%	11,634	55.4%	7,327	34.9%	21,000
	女	1,910	8.4%	11,472	50.5%	9,333	41.1%	
	計	3,935	9.0%	23,106	52.8%	16,660	38.1%	
葉山町	男	2,116	14.0%	8,278	54.9%	4,316	28.6%	15,081
	女	1,971	11.7%	8,871	52.7%	5,702	33.8%	
	計	4,087	12.8%	17,149	53.7%	10,018	31.4%	
計	男	40,329	11.7%	205,065	59.7%	96,589	28.1%	343,607
	女	38,689	10.7%	196,451	54.3%	125,562	34.7%	
	計	79,018	11.2%	401,516	56.9%	222,151	31.5%	
神奈川県	男	571,859	12.5%	2,940,877	64.3%	1,008,568	22.1%	4,570,674
	女	545,180	11.9%	2,762,693	60.2%	1,251,176	27.2%	
	計	1,117,039	12.2%	5,703,570	62.2%	2,259,744	24.7%	

(注) 計には「年齢不詳」を含む。



(6) 保健医療・福祉関係施設数

ア 保健医療福祉施設等（圏域内）

2019(平成31)年4月1日現在

施設所在市町		横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計
医療施設等	病院	12	12	2	2	1	29
	一般診療所	320	184	71	26	19	620
	歯科診療所	233	136	42	22	18	451
	助産所	4	12	4	0	—	20
薬事施設	歯科技工所	74	21	6	9	6	116
	薬局	185	97	32	18	8	340
施術所	医薬品販売業	78	27	8	9	6	128
	あんま・はり・きゅう 柔道整復	442 146	340 51	133 24	58 12	62 5	1035 238
高齢福祉	養護老人ホーム	2	0	0	1	0	3
	軽費老人ホーム	0	2	0	0	0	2
	ケアハウス	3	0	0	0	0	3
	有料老人ホーム	41	28	6	13	7	95
	サービス付き高齢者向け住宅	7	6	2	3	1	19
	地域包括支援センター	12	10	4	2	2	30
児童	認可保育所	39	27	7	4	4	81
	助産施設	5	1	0	1	0	7
	児童自立支援施設	0	0	0	0	0	0
	児童養護施設	2	1	0	0	1	4

イ 介護保険サービス事業者等（圏域内）

2019(平成31)年4月1日現在

サービス・施設の種類の市町	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計
居宅介護支援	127	63	27	17	10	244
居宅サービス	268	165	56	49	21	559
訪問介護	82	68	22	14	4	190
訪問入浴介護	9	4	1	0	0	14
訪問看護	30	16	5	4	1	56
訪問リハビリテーション	4	1	0	1	0	6
通所介護	53	23	7	9	6	98
通所リハビリテーション	9	5	2	2	1	19
短期入所生活介護	24	10	3	5	3	45
短期入所療養介護	10	5	2	2	2	21
特定施設入居者生活介護	20	12	4	10	4	50
福祉用具貸与	13	10	5	1	0	29
特定福祉用具販売	14	11	5	1	0	31
介護保険施設	30	15	5	7	4	61
介護老人福祉施設	20	10	3	5	2	40
介護老人保健施設	10	5	2	2	2	21
介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0
介護医療院	0	0	0	0	0	0
介護予防支援	12	10	4	2	2	30
介護予防サービス	130	73	24	24	11	262
介護予防訪問入浴介護	9	4	0	0	0	13
介護予防訪問看護	29	16	5	2	1	53
介護予防訪問リハビリテーション	4	1	0	1	0	6
介護予防通所リハビリテーション	9	5	2	2	1	19
介護予防短期入所生活介護	24	9	3	5	3	44
介護予防短期入所療養介護	10	5	2	2	2	21
介護予防特定施設入居者生活介護	18	12	4	10	4	48
介護予防福祉用具貸与	13	10	4	1	0	28
特定介護予防福祉用具販売	14	11	4	1	0	30
合計	567	326	116	99	48	1156

注 サービス種類ごとの指定件数であり、医療みなし指定事業所を除く。施設みなしを含む。
ただし、介護保険施設でユニット型併設の場合でも1とする。

第2章 管 理 課

1 表彰

(1) 神奈川県保健衛生表彰（知事）

（表彰式 2018（平成30）年11月19日（月）神奈川県庁）

氏名（施設名）	職種（業種）	備考
秋間 禮二	医師	診療所管理者
山口 泰	医師	診療所管理者
山崎 貞子	美容師	美容所経営者
勝 泰彰	獣医師	動物病院管理者
中村 妙子	保健師	地方公務員

(2) 神奈川県保健衛生表彰（保健福祉事務所長）

（表彰式 2018（平成30）年11月8日（木）鎌倉保健福祉事務所）

氏名（施設名）	職種（業種）	備考
濱名 哲郎	医師	診療所管理者
田嶋 博雄	医師	診療所管理者
小林 晋一郎	歯科医師	歯科診療所管理者
楠本 潤	歯科医師	歯科診療所管理者
神長 愛	看護師	病院勤務
南都 直美	看護師	病院勤務
小泉 久美子	歯科衛生士	嘱託員・在宅歯科衛生士
小宮 川文子	鍼灸マッサージ師	施術所管理者
齋藤 隆	獣医師	動物病院管理者
塚 信也	美容師	理容所経営者
石塚 克利子	食品衛生指導員	ホテル支配人
横島 和子	登録販売者	店舗販売業員
坂口 薫	保健師	地方公務員
大 中 佳子	管理栄養士	大学教員
森 敏子	食生活改善推進員	団体役員

(3) 神奈川県献血推進功労者表彰（知事）

（期日：2018（平成30）年10月19日（金） 場所：日本赤十字社神奈川県支部）
医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院

(4) 神奈川県献血推進功労者表彰（保健福祉事務所長）

（期日：2018（平成30）年11月8日（木） 場所：鎌倉保健福祉事務所）
シンロイヒ株式会社
逗子市役所

2 免許事務取扱い件数

項目	医 師	齒 科 医 師	薬 劑 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	管 理 栄 養 士	准 看 護 師	栄 養 士	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 士	齒 科 技 工 士	指 導 員	受 胎 調 節 実 地	計
登録申請	42	3	22	9	1	58	19	4	39	4	10	0	17	9	1	0	1	1	239
書 換	10	4	18	10	3	49	9	4	12	3	2	0	7	5	0	0	0	0	136
籍 訂 正	10	4	18	10	3	49	9	4	12	3	2	0	7	5	0	0	0	0	136
再 交 付	1	0	2	1	0	4	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	12
登録抹消	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	65	11	60	30	7	160	38	12	65	10	15	0	31	19	1	0	1	1	525

第3章 企画調整課

企 画 調 整 課 業 務

企画調整課は、三浦半島の4市1町(横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)を圏域とする保健・医療・福祉の総合的な企画調整機能を始めとして、保健福祉事務所業務に関する調整や情報提供、保健・福祉人材の育成、さらに、保健統計や医事関係事務(横須賀市保健所、鎌倉保健福祉事務所三崎センター所管分を除く)、受動喫煙防止対策などの業務を行っています。

1 保健・医療・福祉施策に関する総合的企画調整

三浦半島地区の保健・医療・福祉に係る重要事項を検討協議するため、三浦半島地区保健医療福祉推進会議、地域災害医療対策会議、新型インフルエンザ等医療体制対策会議を開催しました。

また、職域保健との連携を図るため、三浦半島地区地域・職域連携推進会議を開催したほか、管内保健福祉サービス関係機関の相互連携の推進や管内保健師業務の調整等を行いました。

2 保健・医療・福祉に関する情報提供等

市町広報紙・地域FM放送、所ホームページ等を通じて当所の事務事業を中心に情報提供を行うとともに、保健福祉事務所年報及び保健福祉事務所の案内を発行しました。

3 保健・福祉人材の育成

保健衛生に関わる管内市町等職員の資質向上のため、保健衛生研修等を実施するとともに、看護、保健福祉関係の実習生の受入れ等を行いました。

4 保健統計等

国による人口動態統計など、保健福祉に係る各種統計調査関係業務を実施しました。

5 医務・献血関係

病院、診療所、施術所等の開設、変更等に伴う許認可等事務や病院、診療所に対する立入検査を行ったほか、献血の促進を図りました。

6 受動喫煙防止条例に関する普及啓発等

受動喫煙防止条例に関する一般県民向け、事業者向けの普及啓発活動を行いました。

また、喫煙防止対策を推進するため、禁煙・防煙に関する普及啓発を行いました。

1 保健・医療・福祉施策に関する総合的企画調整

(1) 三浦半島地区保健医療福祉推進会議

横須賀・三浦二次保健医療圏域の保健・医療・福祉の推進に係る課題等について、情報の共有化及び意見のとりまとめ等を行いました。

また、平成28年10月に「神奈川県地域医療構想」が策定されたことから、平成29年度から「保健医療福祉推進会議」と「地域医療構想調整専門部会」を統合して地域医療構想の推進について協議を行っており、今年度も引き続き、地域医療構想を推進する取組について協議を行いました。

<会議>

月 日	構 成 委 員 所 属	内 容	出席人員
5月	医師会、病院団体、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、社会福祉施設、健康保険組合、看護団体、労働基準監督署、教育事務所、市町、鎌倉保健福祉事務所、三崎センター	・横須賀市立市民病院の公的医療機関等2025プランにおける休床中病床の回復期病床への転換について	35
8月27日		・平成30年度の地域医療構想の進め方について 他	36
10月23日		・公的医療機関等2025プランについて 他	38
2月5日		・2025年に向けた対応方針について 他	34

(2) 三浦半島地区地域・職域連携推進会議

地域と職域が連携した健康づくりを推進するため、三浦半島地区地域・職域連携推進会議を開催し、「身体活動量アップで仕事の能率もアップ」をテーマとする各団体の取り組みについて情報交換等を行いました。また、事業所等の健康管理担当者を対象に研修会を行いました。

<会議>

月 日	構 成 委 員 所 属	内 容	出席人員
1月17日	労働基準監督署、商工会議所・商工会、市町（横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市・葉山町）、鎌倉保健福祉事務所	・労働衛生の現状及び動向について ・三浦半島地区地域・職域連携推進事業について 助言者 筑波大学体育系 准教授 中田 由夫 氏	19

<研修会>

月 日	場 所	内 容	出席人員
1月17日	鎌倉保健福祉事務所	講演 健康経営に向けた職場での身体活動促進の取組み 講師 筑波大学体育系 准教授 中田 由夫氏	28

(3) 横須賀・三浦地域災害医療対策会議

神奈川県保健医療救護計画（平成30年3月）に基づき、地域における災害時医療救護活動に関する体制構築等を図るため、横須賀・三浦地域災害医療対策会議を設置し、災害時医療救護活動関係者による情報共有・意見交換を行いました。

<会議>

月 日	構成委員所属	内 容	出席人員
3月7日	地域災害医療コーディネーター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、災害拠点病院、災害協力病院、市町、鎌倉保健福祉事務所、三崎センター	<ul style="list-style-type: none"> ・横須賀・三浦地域災害医療対策会議に係る検討事項等について ・発災時における各市町の体制について ・広域災害救急医療情報システム（EMIS）及び地域災害医療コーディネート研修について 	27

(4) 保健福祉サービス連携調整会議

管内における保健・医療・福祉関係者の連携による各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、4委員会を開催しました。

<委員会>

委員会名	担当課	掲載ページ
母子保健委員会	保健福祉課	p. 31
地域食生活対策推進協議会		p. 34
歯及び口腔の健康づくり推進委員会		p. 37
地域精神保健福祉委員会	保健予防課	p. 64

※詳細については、各委員会のページに記載

(5) 地域包括ケア・在宅医療推進連絡会議

地域包括ケアシステムの構築、在宅医療の推進を図るため、管内市町などの取組み状況や地域の課題について情報交換を行う会議を開催しました。

<会議>

月 日	構成委員所属	内 容	出席人員
3月18日	医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション連絡協議会、リハビリテーション三団体協議会、ケアマネ連絡会、地域包括支援センター、市町、鎌倉保健福祉事務所 他	在宅医療・介護連携推進に係る取組み及び課題とその対応について <ul style="list-style-type: none"> ・県・市町村・関係団体の取組状況及び好事例の共有 ・課題の共有とその対応についての意見交換 	26

(6) 地域保健師業務連絡会議

管内の保健・福祉における保健師業務の情報交換、連絡協議の場として会議及び研修会を開催しました。

<会議>

月 日	場 所	内 容	出席人員
6月1日	鎌倉保健福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度保健師活動の実績及び平成30年度計画・重点事業について 災害時における保健師活動について 	28

<管内保健師研修会 新任期保健師研修>

月 日	場 所	内 容	参加人員
10月24日	鎌倉保健福祉事務所	地域の健康課題への対応力を高め合う ～PDCAサイクルを活用した事業展開の工夫～ ・講演及びグループワーク	6

<管内保健師研修会 セクションリーダー及び中堅期保健師研修>

月 日	場 所	内 容	参加人員
1月21日	鎌倉保健福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> 講演：発災時に保健師に求められる役割 活動報告：被災者支援から考える災害時保健師活動 グループワーク：今後の継続的な活動について検討する 	19

<セクションリーダー研修会>

月 日	場 所	内 容	出席人員
3月27日	鎌倉保健福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> 保健師の人材育成について 災害時の保健師活動について 	16

(7) 保健師活動実績

ア 家庭訪問・対象別件数

項目	感染症	結核	精神障害	心身障害					生活習慣病		難病	小児特定				その他疾病	未熟児		妊産婦	その他	合計
				1歳未満	6歳未満	18歳以下	39歳以下	40歳以上	39歳以下	40歳以上		1歳未満	6歳未満	18歳未満	18歳以上		1歳未満	1歳以上			
件数	33	63	1	-	2	1	-	-	-	12	28	1	5	-	2	-	-	-	1	149	

訪問内容別再掲														
精神障害			難病					介護保険		児童虐待	小児アレルギー疾患			高齢者虐待
社会復帰	認知症	アルコール	膠原病	血液系	循環器	神経系	消化器	専門調査	苦情等調査		喘息	皮膚炎	アトピー性	
-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	

イ 所内指導

項目	感染症	結核	精神障害	認知症	心身障害	障害児	生活習慣病	難病	小児特定	その他疾病	妊婦	産婦	未熟児	乳児	幼児	思春期	エイズ	女性の健康	その他	計
面接	37	134	5	8	-	2	2	47	102	1	-	-	-	-	3	123	258	2	724	
電話	1,008	851	9	11	4	8	29	206	33	6	-	-	-	1	3	59	-	71	25	2,324
文書	148	212	-	-	-	-	-	23	4	75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	462
計	1,193	1,197	14	19	4	10	31	276	139	82	-	-	-	1	3	62	123	329	27	3,510

2 保健・医療・福祉に関する情報提供

(1) 市町広報紙・地域FM放送等による情報提供

広報媒体名	登 載 日
広報かまくら	毎月1日15日(1月5月8月は1日)
鎌倉衛生時報	毎月15日(1月8月は1日)
広報ずし	毎月1日
広報はやま	毎月1日
かまくらFM「かまくらじお」	毎月(82.8MHz)
湘南ビーチFM「トークイン葉山」	毎月(78.9MHz)
ジェイコム湘南・神奈川	毎月
三浦半島だより	6、9、12、3月

(2) 鎌倉保健福祉事務所広報媒体による情報提供

ア 鎌倉保健福祉事務所ホームページによる情報提供

URL : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/d3x/index.html>

イ 「鎌倉保健福祉事務所年報」2017(平成29)年度の発行(所HPへの掲載)

平成30年7月発行 A4版108頁

ウ 「鎌倉保健福祉事務所のご案内」の発行

平成31年3月発行 A3版二つ折り

3 保健・福祉人材の育成

地域の保健・医療・福祉活動を展開する上での新たな専門的知識と技術の習得を図るため、研修を実施しました。また、看護学生などの実習生を受け入れ指導しました。

(1) 保健衛生研修

月 日	場 所	内 容	対 象	参加人員
10月10日	鎌倉保健福祉事務所	現場でできる感染症対策 第一回「日ごろの対策編」 ①感染症の発生状況について 講師 鎌倉保健福祉事務所職員（保健予防課） ②感染症発生時の対応のポイント 講師 鎌倉保健福祉事務所職員（保健福祉課・食品衛生課） ③ 講演 高齢者施設や保育所で感染症を出さない、広げないための行動を考える 講師 国際医療福祉大学 教授 臺 有桂 氏	保健師、 栄養士、 歯科衛生士等	47
10月26日	鎌倉保健福祉事務所	現場でできる感染症対策 第二回「いざという時の実践編」 講師 鎌倉保健福祉事務所職員（保健予防課） 講義及び演習 吐物処理、正しい手洗い方法	保健師、 栄養士、 歯科衛生士等	33
11月20日	鎌倉保健福祉事務所	【研修テーマ】災害時に配慮が必要な方への支援 ～避難所運営シミュレーション型訓練で配慮が必要な方（妊産婦・乳幼児）への対応力を磨く～ 講師 神奈川県立保健福祉大学 教授 吉田 穂波 氏	保健師、 栄養士、 歯科衛生士等	46

(2) 実習生指導等

ア 合同オリエンテーション

月 日	参加人員
4月20日	48
9月7日	40
計	88

イ 保健福祉事務所実習

種 別	施設数	実習生数
看護師学生	4	53
保健師学生	4	10
社会福祉士学生	1	1
管理栄養士学生	5	18
歯科衛生士学生	1	8
計	15	90

ウ 医師臨床研修

7月23日から7月27日	1名（大船中央病院臨床研修医師）
10月22日から10月26日	1名（大船中央病院臨床研修医師）
1月21日から1月25日	1名（大船中央病院臨床研修医師）

4 保健統計等

(1) 人口動態調査

対象年月	対 象	内 容
平成30年4月～ 平成31年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）	指定統計として出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数調査

(2) 衛生行政報告例（母体保護に関する統計部分）

対象年月	対 象	内 容
平成30年4月～ 平成31年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）の産婦人科医	母体保護法の規定による不妊手術及び妊娠中絶手術の届出件数

(3) 医療施設動態調査

対象年月	対 象	内 容
平成30年4月～ 平成31年3月	病院、一般診療所、歯科診療所	医療施設の分布及び整備の実態並びに医療施設の診療機能の把握

(4) 医師・歯科医師・薬剤師届出

対象年月	対 象	内 容
平成30年12月	日本国内に住所があつて、医療法第6条第3項により届出た医師、歯科医師法第6条第3項により届出た歯科医師及び薬剤師法第9条により届出た薬剤師	医師、歯科医師及び薬剤師について、性、年齢、業務の種別、従事場所及び診療科目名（薬剤師は除く）等による分布を明らかにし、厚生労働行政のための基礎資料とする。（2年に一度実施）

(5) 業務従事者届

対象年月	対 象	内 容
平成30年12月	業務に従事している保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士及び歯科技工士	保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士及び歯科技工士について、性、年齢、業務の種別、従事場所等による分布を明らかにし、厚生労働行政のための基礎資料とする。（2年に一度実施）

(6) 病院報告

対象年月	対 象	内 容
平成30年4月～ 平成31年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）の病院14ヶ所	病院、療養病床を有する診療所における患者の利用状況及び病院の従事者の状況を把握

(7) 地域保健・健康増進事業報告

対象年月	対 象	内 容
平成30年4月～ 平成31年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）	保健所及び市町における地域保健・健康増進事業の実施状況の把握

※ 備考 各調査結果は厚生労働省の報告書として公表されます。

5 医務・献血関係

(1) 医療施設数・人口10万対率（市町別）

平成31年3月31日現在

市町名	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あんま・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
鎌倉市	12	7.0	184	106.8	136	78.9	12	7.0	340	197.3	51	29.6	21	12.2
逗子市	2	3.5	71	124.7	42	73.7	4	7.0	133	233.5	24	42.1	6	10.5
葉山町	1	3.2	19	59.9	18	56.7	—	—	62	195.4	5	15.8	6	18.9
計	15	5.7	274	105.0	196	75.1	16	6.1	535	205.0	80	30.7	33	12.6

(2) 医療施設数・人口10万対率年次推移

各年3月31日現在

年次別	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あんま・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
2007年 (平成19)	17	6.5	247	93.8	176	66.8	11	4.7	335	127.2	37	14.1	41	15.6
2008年 (平成20)	17	6.4	250	94.6	181	68.5	12	4.5	351	132.9	44	16.7	42	15.9
2009年 (平成21)	17	6.4	256	96.7	179	67.6	12	4.5	363	137.2	51	19.3	43	16.2
2010年 (平成22)	17	6.4	252	94.9	182	68.5	12	4.5	382	143.8	56	21.1	43	16.2
2011年 (平成23)	16	6.0	250	94.2	182	68.6	13	4.9	413	155.6	58	21.8	37	13.9
2012年 (平成24)	16	6.0	250	94.3	185	69.8	13	4.9	428	161.4	63	23.8	36	13.6
2013年 (平成25)	16	6.1	250	94.6	184	69.6	14	5.3	436	165.5	70	26.5	36	13.6
2014年 (平成26)	16	6.1	262	99.4	185	70.2	16	6.1	447	169.6	70	26.6	35	13.3
2015年 (平成27)	16	6.1	248	94.3	189	71.8	16	6.1	462	175.6	73	27.7	33	12.5
2016年 (平成28)	16	6.1	255	97.6	190	72.7	15	5.7	535	182.6	80	29.5	33	13.8
2017年 (平成29)	16	6.1	259	99.2	198	75.9	13	5.0	502	192.3	77	29.5	33	12.6
2018年 (平成30)	15	5.7	269	103.1	199	76.2	14	5.4	514	196.9	78	29.9	32	12.3
2019年 (平成31)	15	5.7	274	105.0	196	75.1	16	6.1	535	205.0	80	30.7	33	12.6

(3) 病床数・人口10万対率（市町別）

平成31年3月31日現在

市町名 施設名	病 院										一般診療所		計			
	一 般		療 養		精 神		結 核		感 染 症		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
管内総計	1,596	611.5	548	210.0	90	34.5	0	0	0	0	2,234	855.9	121	46.4	2,355	902.3
鎌倉市	1,471	853.6	451	261.7	90	52.2	0	0	0	0	2,012	1167.6	78	45.3	2,090	1,212.9
鎌倉リハビリテーション 聖アレンシア病院	—	—	128	—	—	—	—	—	—	—	128	—	—	—	—	—
鎌倉ヒロ病院	49	—	30	—	—	—	—	—	—	—	79	—	—	—	—	—
鎌倉病院	67	—	18	—	—	—	—	—	—	—	85	—	—	—	—	—
鈴木病院	54	—	71	—	—	—	—	—	—	—	125	—	—	—	—	—
清川病院	89	—	109	—	—	—	—	—	—	—	198	—	—	—	—	—
大船中央病院	285	—	—	—	—	—	—	—	—	—	285	—	—	—	—	—
額田記念病院	—	—	58	—	—	—	—	—	—	—	58	—	—	—	—	—
ふれあい鎌倉 ホスピタル	112	—	—	—	—	—	—	—	—	—	112	—	—	—	—	—
メンタルホスピ タルかまくら山	—	—	—	90	—	—	—	—	—	—	90	—	—	—	—	—
小さき花の園	72	—	—	—	—	—	—	—	—	—	72	—	—	—	—	—
湘南記念病院	124	—	37	—	—	—	—	—	—	—	161	—	—	—	—	—
湘南鎌倉総合病院	619	—	—	—	—	—	—	—	—	—	619	—	—	—	—	—
逗子市	36	63.2	97	170.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	133	233.5	43	75.5	176	309.0
逗子病院	36	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36	—	—	—	—	—
青木病院	—	—	97	—	—	—	—	—	—	—	97	—	—	—	—	—
葉山町	89	280.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	89	280.4	0	0.0	89	280.4
葉山ハートセンター	89	—	—	—	—	—	—	—	—	—	89	—	—	—	—	—

(4) 病床数・人口10万対率年次推移

各年3月31日現在

年次別	病 院										一般診療所		総 数			
	一 般		療 養		精 神		結 核		感 染 症		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
2000年 (平成12)	1,882	736.3	—	—	124	48.5	54	21.1	—	—	2,060	805.9	257	100.5	2,317	906.5
2005年 (平成17)	1,417	543.0	621	238.0	124	47.5	24	9.2	—	—	2,186	837.7	212	81.2	2,398	919.0
2010年 (平成22)	1,423	535.8	716	269.6	90	34.5	—	—	—	—	2,229	839.3	111	41.8	2,340	881.1
2011年 (平成23)	1,423	536.0	677	255.0	90	33.9	—	—	—	—	2,190	824.9	99	37.3	2,289	862.2
2012年 (平成24)	1,478	557.4	677	255.3	90	33.9	—	—	—	—	2,245	846.7	99	37.3	2,344	884.0
2013年 (平成25)	1,477	557.1	662	249.7	90	33.9	—	—	—	—	2,229	840.7	99	37.3	2,328	878.0
2014年 (平成26)	1,497	573.5	662	253.6	90	34.5	—	—	—	—	2,249	853.5	102	38.7	2,351	892.2
2015年 (平成27)	1,542	586.1	662	251.6	90	34.2	—	—	—	—	2,294	878.9	102	38.8	2,396	910.7
2016年 (平成28)	1,540	585.4	660	250.9	90	34.2	—	—	—	—	2,290	870.4	102	38.8	2,392	909.2
2017年 (平成29)	1,535	588.1	660	252.9	90	34.5	—	—	—	—	2,285	875.5	121	46.4	2,406	921.8
2018年 (平成30)	1,572	602.3	572	219.2	90	34.5	—	—	—	—	2,234	855.9	121	46.4	2,355	902.3
2019年 (平成31)	1,596	611.5	548	210.0	90	34.5	—	—	—	—	2,234	855.9	121	46.4	2,355	902.3

(注) 2003年までは、療養病床は一般病床に含まれています。
 (注) 2006年10月に、管内にあった結核病床は廃止されました。

(5) 医務関係許可等取扱い件数

	許可申請			届出			エックス線装置			計
	開設	変更	構造設備使用	開設	変更	休止廃止再開	設置	廃止	変更	
病院	—	22	16	—	3	—	11	6	—	58
一般診療所	11	17	1	18	36	17	16	17	—	133
歯科診療所	3	2	—	5	16	8	18	12	—	64
助産所	—	—	—	2	—	—	/	/	/	2
あんま・はり・きゅう	/	/	/	32	46	10	/	/	/	88
柔道整復	/	/	/	3	16	1	/	/	/	20
歯科技工所	/	/	/	1	—	—	/	/	/	1
計	14	41	17	61	117	36	45	35	0	366

(6) 立入検査

医療施設の適切な運営を確保するため、医療法第25条の規定に基づき、医療従事者の適正配置、構造設備、防災対策等について立入検査を実施しました。

- ・実施期間 平成30年9月～平成31年3月
- ・実施施設数

	鎌倉市	逗子市	葉山町	三浦市	計
病院	12	2	1	2	17
有床診療所	2	—	—	—	2
人工透析診療所	—	1	—	—	1
特定眼科診療所	—	—	—	—	0
計	14	3	1	2	20

(参考) 神奈川県立入検査要綱に基づく対象施設及び実施時期

- ①病院 : 病床を20床以上有する医療施設 毎年
- ②有床診療所 : 19床以下の病床を有する医療施設 3年に1回以上
- ③人工透析診療所 : 人工透析設備を有する医療施設 3年に1回以上
- ④特定眼科診療所 : 要綱に定める要件を満たす医療施設 5年に1回以上

(7) 医療従事者数・人口10万対率(市町別)

2016(平成28)年12月末現在

市町名	医師		歯科医師		薬剤師		保健師		助産師		看護師		准看護師	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
鎌倉市	568	329.6	145	84.1	629	365.0	52	30.2	64	37.1	1,529	887.2	190	110.2
逗子市	85	147.7	55	95.6	110	191.1	21	36.5	10	17.4	183	318.0	44	76.4
葉山町	32	99.7	19	59.2	24	74.8	9	28.0	1	3.1	121	376.9	14	43.6
計	685	261.5	219	83.6	763	291.2	82	31.3	75	28.6	1833	699.6	248	94.7

市町名	歯科衛生士		歯科技工士	
	数	率	数	率
鎌倉市
逗子市
葉山町
計	231	88.2	27	10.3

(8) 献血数・目標数(市町別)

(単位：人)

市町名	200ml		400ml		計	
	目標数	献血数	目標数	献血数	目標数	献血数
鎌倉市	63	121	1,646	1,475	1,709	1,596
逗子市	13	15	182	155	195	170
葉山町	12	10	187	122	199	132
計	88	146	2,015	1,752	2,103	1,898

(9) 年次別献血数・目標数

(単位：人)

年次別	200ml		400ml		成分		計	
	目標数	献血数	目標数	献血数	目標数	献血数	目標数	献血数
1995年度 (平成7)	2,950	2,283	2,960	2,526	80	52	5,990	4,861
2000年度 (平成12)	660	574	2,632	1,558	—	10	3,292	2,142
2005年度 (平成17)	103	222	2,379	1,432	59	6	2,541	1,660
2010年度 (平成22)	80	78	2,352	1,325	—	—	2,432	1,403
2011年度 (平成23)	111	74	1,690	1,576	—	—	1,801	1,650
2012年度 (平成24)	62	101	1,985	1,223	—	—	2,047	1,324
2013年度 (平成25)	66	108	2,153	1,005	—	—	2,219	1,113
2014年度 (平成26)	101	104	1,887	956	—	—	1,988	1,060
2015年度 (平成27)	121	90	1,553	953	—	—	1,674	1,043
2016年度 (平成28)	96	148	1,815	1,926	—	—	1,911	2,074
2017年度 (平成29)	149	182	1,971	1,828	—	—	2,120	2,010
2018年度 (平成30)	88	146	2,015	1,752	—	—	2,103	1,898

6 受動喫煙防止条例に関する普及啓発等

(1) 受動喫煙防止条例に係る普及啓発

ア 一般県民向け普及啓発の実施

駅前等でのチラシ配布、イベント参加等により、一般県民向け普及啓発活動を実施しました。

イ 事業者向け説明会の開催

各種講習会での資料の配布を実施しました。

- ・食品衛生責任者講習会

ウ 事業者向け戸別訪問の実施

新規の飲食店や条例未対応店、理美容店を中心に戸別訪問等を行い、条例の実施状況を確認しました。

訪問等件数	743件
-------	------

※電話等による確認、再訪問件数を含みます。

エ その他

管内の条例協力店に係るホームページを作成し、条例協力店制度の普及に努めました。

(2) 地域禁煙サポート推進事業

喫煙防止対策を推進するため、禁煙相談や禁煙・喫煙防止に関する普及啓発を行いました。

ア 禁煙・防煙講演会

対象	回数	参加人員
小学校	1	41
中学校	1	152
高等学校	1	199

イ 禁煙相談(延べ)

随時相談	電話相談等
0	1

※禁煙相談は保健予防課で担当しています。

第4章 保健福祉課

保 健 福 祉 課 業 務

専門的なサービスの提供や医療・福祉の援護を行い、保健福祉サービスの向上と円滑な推進に努めました。

1 母子保健

思春期の心身の成長と生涯を通じた女性の健康増進を図るため、思春期保健事業及び生涯を通じた女性の保健相談等事業を実施するとともに不妊に悩む方への特定治療支援事業の助成を行いました。

また、小児慢性特定疾病児等を対象とした小児医療援護、養育支援事業を実施するとともに、地域における母子保健福祉サービスが円滑に提供されるよう母子保健委員会を開催し、地域の体制づくりを行いました。

2 健康増進、がん対策

がん検診受診率向上のため、管内市町や職域と協働して、地域のニーズや実態に応じた「がん検診普及啓発セミナー」を実施しました。また、市町の健康増進事業及び特定検診・特定保健指導の円滑な推進を図るため、市町との会議を実施しました。

3 栄養・食生活対策

地域食生活対策推進協議会を開催し、地域における長期療養者等への一元的な栄養管理を進めるため、食生活支援体制づくりについて協議しました。

また、健康増進法に基づき特定給食施設に対する個別及び集団指導の実施や、栄養表示の推進に向け、普及啓発講習会や相談、栄養表示状況調査を実施しました。さらに、専門的栄養相談や栄養・食生活支援担当者研修を実施しました。

4 歯科保健

「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づき、地域における関連事業の効果的かつ円滑な推進を図るため、歯及び口腔の健康づくり推進委員会を開催し、管内関係機関等と情報を共有しました。併せて、地域の基盤づくりとして、ボランティアの育成支援を行う 8020 運動推進員養成事業を実施しました。

また、専門的かつ技術的な事業として、重度う蝕児の減少を目的とした事業、障害児者や在宅療養者等を対象にした事業、歯周病予防のための事業を実施しました。

5 地域福祉

地域の福祉的課題に対応するため、民生委員・児童委員への負担金の交付、障害福祉相談員への研修、地域福祉の人材育成、成年後見制度普及啓発事業、バリアフリーの街づくり普及啓発事業など、地域福祉の推進に向けた取り組みを行いました。

6 介護保険

介護保険指定事業者等に対する集団指導講習会、実地指導及び介護保険に関する苦情・相談対応等を

行いました。

7 生活福祉

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法・児童福祉法・母子及び父子並びに寡婦福祉法に定められている援護等を行いました。

また、「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」に基づき、特別障害者手当等の支給事務を行いました。

8 福祉統計

生活保護の被保護世帯数・人員など生活福祉等に係る統計調査業務を実施しました。

1 母子保健

(1) 思春期保健事業

ア 個別相談

区分	相談方法			相談者(延べ数)			相談内容(延べ数)										事後指導(延べ数)								
	電話	面接	計	本人	父母	その他	計	身体	性	妊娠	結婚	病友	家族	学	その他	計	助言指導	面接継続	電話継続	訪問継続	他機関紹介	受診勧奨	その他	計	
男	45	0	45	41	4	0	45	3	41	0	0	2	0	2	1	1	50	40	0	0	0	0	2	3	45
女	14	3	17	0	12	5	17	9	0	0	0	5	1	5	11	0	31	6	0	0	0	0	2	9	17
計	59	3	62	41	16	5	62	12	41	0	0	7	1	7	12	1	81	46	0	0	0	0	4	12	62

イ 思春期健康教育

月日	場所	対象	内容	参加人員
7月13日	鎌倉市立第一中学校	中学3年生 教員	大人になるあなたに知って欲しい、 カラダとココロのこと ～これからの自分、大切な人のために～	87
3月1日	鎌倉市立第二中学校	中学3年生 教員	大人になるあなたに知って欲しい、 カラダとココロのこと ～これからの自分、大切な人のために～	67
1月31日	清泉女学院中学校	中学1年生 教員	いのちの教室 ～将来の自分のために今できること～	182

ウ 思春期保健連絡会

思春期の健康問題をテーマに管内の母子保健・学校保健関係者と勉強会・情報交換会を実施しました。性の多様性についての理解を深め、子どもたちの悩みに向き合う視点や子どもたちに何をどのように伝えるのか等支援者の立場でできることを共に学び連携強化に取り組みました。

月日	場所	内容	参加人員
2月18日	鎌倉保健福祉事務所	「性の多様性ってなんだろう ～子どもたちに何をどう伝えるか～」 講師 埼玉大学基盤教育研究センター准教授 渡辺 大輔 氏	36

エ 思春期保健講演会

思春期や思春期前の子どもの保護者や関係者に対して性に関する子どもを取り巻く環境等について学ぶ場を鎌倉市と協同して提供しました。

月日	場所	内容	参加人員
10月14日	鎌倉市福祉センター	「思春期のこころと性 ～いま、何を、どう伝えるか～」 講師 ヘルスプロモーション推進センター代表 泌尿器科医師 岩室 紳也 氏	103

(2) 生涯を通じた女性の保健相談等事業

ア 思春期から更年期に至る女性が心身ともに健康な生活を送れるように、一般相談や専門相談を行いました。

区分	相談方法			相談者(延べ数)			相談内容(延べ数)										事後指導(延べ数)								
	電話	面談	その他	本	その他	計	妊	避	不	不	メンタル	婦	更	性	その他	計	助	専	電	訪	他	医	その他	計	
	話	接	他	人	他		娠	妊	妊	症	性	ケ	人	年	感		言	門	話	問	機	療			
一般相談 (随時)	71	258	0	300	29	329	6	0	265	0	8	12	22	1	3	21	338	44	8	0	0	1	5	271	329
専門相談 (12回開設)	0	27	0	26	1	27	3	0	1	0	1	22	6	1	0	5	39	15	7	0	0	1	4	0	27

イ 妊娠・不妊に関する正しい知識の普及啓発

月日	場所	対象	内容	参加人員
7月10日	鎌倉女子大学高等部	高等部3年生	自分のカラダとココロ ～未来のあなたのために～	92
7月12日	県立七里ガ浜高等学校	高校1年生	みんなに知って欲しいカラダとココロ ～未来の自分、大切な人のために～	368
7月13日	県立深沢高等学校	高校2年生	思春期の心と性～人は経験に学び、経験しないことは他人ごと～ 講師：ヘルスプロモーションセンター 岩室 紳也 氏	244
9月8日	県立深沢高等学校	深沢高等学校 学園祭来場者	プレパパ・ママ体験、乳がん触診他	174
9月9日	県立七里ガ浜高等学校	七里ガ浜高等 学校学園祭来 場者	プレパパ・ママ体験、乳がん触診他	297
11月3日 11月4日	鎌倉女子大学	鎌倉女子大学 学園祭来場者	プレパパ・ママ体験、乳がん触診他	918
1月29日	清泉女学院高等学校	高校2年生	あなたに知って欲しいカラダとココロ ～未来の自分、大切な人のために～	173

(3) 不妊に悩む方への特定治療支援事業

不妊治療の経済的負担を軽減するため、医療保険が適用されず、医療費が高額な配偶者間の特定不妊治療(体外受精・顕微授精)に対して、その費用の一部を助成する「不妊に悩む方への特定治療支援事業」について、申請窓口として対象となるご夫婦からの申請を受け付け、関係書類の内容を確認の上、審査・決定を担当する県健康増進課へ送付しました。(経由事務)

市町名	申請件数	計
鎌倉市	199 (136)	325 (208)
逗子市	87 (52)	
葉山町	39 (20)	

()内は申請実人数

(4) 小児医療援護

各種小児医療援護制度に基づき、疾病に罹患している子どもが早期に適切な治療を受けられるよう医療費の給付事務を行いました。

なお、育成医療給付と未熟児養育医療給付の事務は、2013(平成25)年度に市町村に移譲しました。

ア 小児慢性特定疾病医療費助成(事業開始1974(昭和49)年度、2005(平成17)年度 制度改正 2014(平成26)年度 制度改正)

疾病	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体または遺伝子に変化を伴う症候群	皮膚疾患	骨系統疾患	脈管系疾患	計(人)
鎌倉市	18	10	1	10	20	2	10	5	3	1	9	8	2	3	1	0	103
逗子市	7	3	1	6	7	2	6	1	2	0	1	7	2	0	0	0	45
葉山町	5	3	0	4	9	0	1	0	1	0	4	3	0	0	0	1	31
計	30	16	2	20	36	4	17	6	6	1	14	18	4	3	1	1	179

イ 育成医療給付(事業開始1954(昭和29)年度)

疾病	肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	音声障害	心臓機能障害	腎臓機能障害	小腸機能障害	肝臓機能障害	その他内臓機能障害	免疫機能障害	計(人)
鎌倉市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
逗子市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
葉山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 未熟児養育医療給付(事業開始1958(昭和33)年度)

体重別	1000g以下	1001g~1500g	1501g~1800g	1801g~2000g	2001g~2300g	2301g~2500g	2501g以上	計(人)
鎌倉市	-	-	-	-	-	-	-	0
逗子市	-	-	-	-	-	-	-	0
葉山町	-	-	-	-	-	-	-	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 養育支援事業

疾病等により、長期にわたり療養を必要とする児童に対し、適切な養育を確保し日常生活における健康の保持増進を図るため相談や教室を行いました。

ア 訪問指導

	小児慢性疾病	その他	計
実人数	4	2	6
延べ人数	8	3	11

イ 所内指導(電話・面接・文書等)

	小児慢性疾病	その他	計
実人数	104	56	160
延べ人数	139	92	231

ウ 集団指導

(ア) ダウン症児等の親子の会(さくらんぼの会)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
6月7日	鎌倉保健福祉事務所	「先輩ママに聞いてみよう!～どんなふうになくなったの?～」 先輩保護者より育児や就園・就学に関する体験談を伺いました。	さくらんぼの会先輩保護者 南郷氏 ミニこやぎの会会員 藤井氏	12
8月21日	鎌倉保健福祉事務所	「発達支援室のおはなし」 発達支援室の紹介、ダウン症等の障がい児者の福祉サービスの利用等についての講話	鎌倉市役所こどもみらい部発達支援室 児童発達支援センター あおぞら園 川村 智子 園長	8
10月15日	虹の子作業所	「作業所の見学に行こう!」 虹の子作業所とグループホームの見学	NPO法人虹の子作業所 所長 中川 千恵子氏	20
12月10日	鎌倉保健福祉事務所	「Down症の子どもの食支援」	昭和大学歯学部 弘中 祥司 教授	27
2月22日	鎌倉保健福祉事務所	ダウン症児のことばの発達とかかわり方	言語聴覚士 菅野 由利子氏	55

(イ) 小児慢性特定疾病児教室

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
8月28日	鎌倉保健福祉事務所	(1) 講演会「食物アレルギーの基礎知識と緊急時のエピペン対応」 (2) 演習：緊急時のエピペン対応	神奈川県立こども医療センター アレルギー科長 犬尾 千聡氏	52
11月10日	鎌倉保健福祉事務所	「思春期とがん体験～治療・こころ・未来について～」 ①思春期・若年成人 (AYA)世代がんの現状と課題 ②思春期に闘病した私からのメッセージ ③サバイバーとしての体験と生殖心理の視点から	①山本 将平氏 昭和大学藤が丘病院 小児・AYA世代がんセンター小児科医師 ②宮澤 理恵氏/遊佐 ③(宮川) 智子氏 「STAND UP!!」の会員(当事者)	26

(6) 保健福祉サービス連携調整会議（母子保健委員会）

管内の母子保健事業が円滑かつ効果的に行われることを目的に、母子保健委員会を開催しています。今年度は、「医療的ケア児」の支援体制作りの一つとして、特に就学前の子どもを中心とした管内の各関係機関の支援と課題について、有識者による講話や助言も踏まえ今後の支援について検討を行いました。

月 日	内 容	出席人員
1月9日	1 管内母子保健の現状について 2 医療的ケアが必要な子どもたちを地域で支えるために ～母子保健を起点とした病気や障がいのある児への 切れ目ない支援を考える～	23

(7) 母子保健事業連絡会

市町と連携し、母子保健事業を円滑に推進するため、情報・意見交換等を行いました。

月 日	場 所	内 容	出席人員
7月4日	鎌倉保健福祉事務所	1 平成30年度母子保健事業の新規・重点事業について 2 子育て世代包括支援センター設置・運営状況及び産後ケア事業の各市町の取組みについて 3 情報交換 ・妊娠期教室の取組みと周知方法について ・新生児聴覚検査について ・産後健診の費用決済の方法と健診結果の把握について ・3歳児の視覚検査について ・小児の生活習慣病対策について 4 医療的ケア児に係る支援について 5 情報提供等 ・鎌倉三浦地域児童相談所 ・こども医療センター ・鎌倉保健福祉事務所・三崎センター歯科保健事業について	22

2 健康増進・がん対策

(1) がん検診普及啓発セミナー

地域の実情に合わせたがん検診受診率の向上を目指すため、管内市町や民間企業等と協働して、地域のニーズや実情に応じた「がん検診普及啓発セミナー」を実施しました。

月 日	内 容	場 所	来場者数
9月8日	深沢高等学校文化祭「深高祭」 ・がん検診普及啓発リーフレット配布 ・体験コーナー（乳房自己触診）の設置と啓発 ・がんに関するクイズとアンケートとノベルティ配布	県立深沢高等学校	78
9月9日	七里ガ浜高等学校文化祭（七高祭） ・がん検診普及啓発リーフレット配布 ・体験コーナー（乳房自己触診）の設置と啓発 ・がんに関するクイズとアンケート（ノベルティ配布）	県立七里ガ浜高等学校	101
9月27日	平成30年度逗葉がん予防講演会 「今からはじめよう、がん予防～運動と食事について～」 ・がん検診普及啓発リーフレット配布 ・体験コーナー（乳房自己触診）の設置と配布 ・乳房自己触診パンフレット配布	逗子市保健センター	45
10月6日	ピンクリボンかながわin鎌倉2018 ・がん検診普及啓発リーフレット配布 ・体験コーナー（乳房自己触診）の設置と啓発 ・アンケートの実施とノベルティ配布 ・医師・保健師・がん体験者を交えたトークショー	大船観音寺本堂 ルミネ大船店3階正面入り口前	53
11月3日 11月4日	鎌倉女子大学「みどり祭」 ・がん検診普及啓発リーフレット配布 ・クイズラリーとがん関係のパネル展示 ・体験コーナー（乳房自己触診）の設置と啓発 ・アンケート実施とノベルティ景品の提供	鎌倉女子大学 大船キャンパス	500
1月10日	地域包括ケア講演会 ・がん検診普及啓発リーフレットの配布	逗子文化プラザさざなみホール	112
1月15日	葉山町商工会女性部研修会 ・がんの知識普及のための講話 ・がん検診普及啓発リーフレットの配布 ・体験コーナー（乳房自己触診）の設置と啓発 ・がん体験者による講話	葉山町商工会議所	13
3月18日	当所環境衛生課主催美容所講習会 ・がんの知識普及のための講話 ・がん検診普及啓発リーフレット配布 ・がん体験者による講話	鎌倉市福祉センター	75

(2) 地域企業におけるがん検診受診促進事業

平成30年度新たな「神奈川県がん対策推進計画」が策定され、対策型検診として行われている全てのがん種（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がん）における、がん検診受診率をは50%以上に向上することが目標とされています。がん検診受診普及啓発に関する講話やリーフレット配布等にて、地域の企業、事業所等におけるがん検診の受診促進を図り、効果的な受診率の向上に努めました。

月 日	内 容	場 所	参加人数 又は 事業所数
9月5日	労働衛生週間推進大会の場を活用して、神奈川労務安全衛生協会横須賀支部会員事業所事業所に、がん検診普及啓発リーフレットを配布	ヴェルクよこすか 6階ホール	170
9月11日 9月12日 9月13日 9月14日	商工会議所の主催する定期健康診断の場で、がん情報ブースを出展し、乳房自己触診の体験コーナーを設置。また、がん検診普及啓発リーフレットを配布、がんに関するクイズを実施し、口頭にてがん検診受診を促進した。	鎌倉商工会議所 逗子市商工会	133
1月15日	葉山町商工会女性部研修会にて、がん体験者の講話とがん関係リーフレットを用いて、口頭にてがん検診受診を促した。	葉山町商工会	13
2月5日 3月18日	鎌倉保健福祉事務所実施の美容所講習会でチラシ（鎌倉保健福祉事務所作成）とがん検診普及啓発リーフレットを配布し、がん検診受診を促進した。	鎌倉保健福祉事務所 鎌倉商工会議所	127 事業所
通年	鎌倉保健福祉事務所実施の食品衛生責任者講習会等でがん関係リーフレットを配布し、口頭にてがん検診受診を促す。	鎌倉保健福祉事務所 等	1555 事業所
通年	三浦半島地域産業保健センターに依頼し、巡回対象の企業にがん関係リーフレットを配布し、がん検診受診を促す。	対象企業先	160 事業所

(3) 健康増進評価事業

管内市町の実施する健康増進事業についてヒアリングを行い、市町が地域特性を踏まえて円滑かつ効果的に実施できるよう情報提供、情報共有をし、地域の健康課題把握に努めました。

日 時	内 容	場 所	出席者	出席数
7月25日	健康増進事業の自己点検結果に関する合同ヒアリング会	鎌倉保健福祉事務所	鎌倉市市民健康課 逗子市国保健康課 葉山町町民健康課 鎌倉保健福祉事務所	11

(4) 保健医療データ活用事業（地区別研修会）

保健医療データなどを活用し、県と市町村が連携して地域課題の分析や評価を行うことで、市町村が行う健康づくり事業について、より効果的な事業展開になるよう支援するとともに、県全体の未病改善、健康づくり施策のさらなる推進を図るため、研修会等を開催しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
12月27日	鎌倉保健福祉事務所	・保健医療データ活用事業について ・講義「データからみる神奈川県の特徴について」 ・演習「地域の健康課題を明らかにするためのデータの読み解き方」	神奈川県立保健福祉大学 栄養学科臨床栄養疫学研究 室 研究員 岩根 泰蔵 氏	24
3月12日	鎌倉保健福祉事務所	・講義「健康づくりのためのデータ活用」 ・演習「地域の健康課題を明らかにするためのデータの読み解き方」	目白大学看護学部看護学科 准教授 藤井 仁 氏	14

3 栄養・食生活対策

(1) 特定給食等指導事業

健康増進法に基づき、給食施設に対し栄養管理について必要な指導、助言を行うとともに、利用者や職員等の健康に関する知識の普及や健康・栄養教育等の支援を行い、給食を通じた地域の健康づくりを推進しました。

ア 実地調査及び指導

<給食施設個別指導> [対象施設状況一覧]

種別区分	特定給食施設						その他の給食施設			対象施設数
	1回100食以上 又は 1日250食以上			1回300食以上 又は 1日750食以上			1回50食以上100食未満 又は 1日100食以上250食未満			
	管理栄養士配	栄養士配置	未配置	管理栄養士配	栄養士配置	未配置	管理栄養士配置	栄養士配置	未配置	
学 校	3	1	4	16	9	—	1	—	—	34
病 院	5	—	—	2	—	—	7	—	—	14
老人保健施設	5	—	—	—	—	—	3	—	—	8
老人福祉施設	10	—	—	—	—	—	6	1	1	18
児童福祉施設	8	7	3	—	—	—	7	10	3	38
社会福祉施設	—	—	—	—	—	—	1	—	5	6
事業所	2	—	2	3	—	—	3	2	6	18
寄宿舎	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
その他	2	2	—	—	—	—	2	1	9	16
計	35	10	9	21	9	0	30	14	25	153

イ 特定給食施設等講習会

<全体講習会>

月 日	内 容	参加施設数	参加人員
6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・演題1「食中毒予防について」 講師 鎌倉保健福祉事務所職員（食品衛生監視員） ・演題2「災害時における給食施設における栄養・食生活支援について」 講師（公社）神奈川県栄養士会会長・危機管理対策委員会委員長 西宮 弘之 氏 	111	146

<種別講習会>

月 日	内 容	参加施設数	参加人員
2月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「子ども自立生活支援センターにおける栄養管理・給食管理の実際」 講師 子ども自立生活支援センター 主任技師 五十嵐 香織 氏 ・グループワーク 社会福祉施設等の施設間栄養情報の共有について 利用者の食生活の課題について 等 	3	8

ウ 栄養改善普及運動

月 日	内 容	参加人員
9月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスチェック ・賢いコンビニごはんの選び方 ・委託給食会社とコラボした野菜たっぷりヘルシーメニューの提供 	41

(2) 栄養・食生活施策の企画・運営

地域における長期療養者等の一元的な栄養管理を進めるため、食生活支援体制づくりについて協議しました。

ア 地域食生活対策推進協議会の運営

月 日	委員構成	内 容	出席 人員
2月13日	医師会公衆衛生担当理事 (医師)、学識経験者、管内給食施設の施設長及び栄養士、管内市町健康づくり 主管課担当者、鎌倉保健福祉事務所保健福祉部長	テーマ「給食施設における災害時の栄養食生活 支援体制整備について」 ・給食施設における災害時の栄養・食生活支援 について ・給食施設の災害時の現状把握について ・その他	15

(3) 地域・医療・福祉・介護領域と連携した栄養・食生活支援体制づくり

地域における食生活改善活動の推進を図るため、人材育成及び活動支援を実施しました。

ア 市町村に対する企画・技術支援

<管内行政栄養士連絡会>

月 日	内 容
6月28日	・平成30年度事業計画について ・食生活改善推進団体の養成・育成について ・食育推進計画、健康増進計画の推進について
3月8日	・平成30年度事業実績及び平成31年度事業計画について ・平成31年度行政栄養士業務連絡会の計画について

イ 食育推進研修（地域保健活動推進研修）

月 日	対 象	内 容	出 席 人 員
11月19日	管内児童福祉施設・小学校 及び給食センター・幼稚園 の食育に関わる管理栄養 士・栄養士・調理担当者・ 食育担当者等 管内市・町教育委員会、児 童福祉関係課、健康主管課 に勤務する管理栄養士・栄 養士・食育担当者等	・講演 「好き嫌いはどこから？～食べると いう行為の不思議～」 講師 文教大学健康栄養学部 管理栄養学科 准教授 秋吉 美穂子 氏 ・グループワーク ・発表・まとめ	27

ウ 地域や職域等の人材育成

<食生活改善推進団体の育成（事業委託：地域食生活改善推進事業）>

指導回数	延べ人員
16	219

<管理栄養士課程の臨地実習>

5施設（大学） 18名

(4) 専門的栄養指導・食生活支援事業

ア 個別栄養指導

疾病別	実人員	延べ人員	(再掲)訪問	備考
糖尿病合併症	1	1	—	
脂質異常症・肥満合併症	1	1	—	
腎臓疾患	—	—	—	
難病	—	—	—	
精神保健	2	2	—	
高齢者の低栄養	1	1	—	
食物アレルギー	—	—	—	
計	5	5	—	

イ 食生活支援担当者等研修会

月日	対象	内容	出席人員
1月28日	管内病院・介護老人保健施設・老人福祉施設の栄養管理担当者(管理栄養士、栄養士等) 有料老人ホームの管理者及び食事提供・栄養管理担当者等 管内市・町の栄養士等(非常勤含む)	・講演 「終末期の栄養管理 ～人生最期を迎えるとき、栄養士として何を考え、どう動くか～」 講師 栄養サポートネットワーク合同会社 副代表 中田 恵津子 氏 ・グループワーク	21

(5) 栄養表示等普及啓発及び活用推進事業

ア 消費者等への栄養表示等の普及啓発

対象	回数	人数	内容
事業者	2	235	食品衛生責任者講習会、食品衛生協会総会
消費者	6	557	大学学園祭における普及啓発講習会、若宮会支部定例会、ヘルスマイト養成講座等
給食施設	1	41	栄養改善普及運動
その他	—	—	
合計	9	833	

イ 栄養表示等相談・指導

区分	内容	食品表示法						合計	
		栄養表示			栄養機能食品		機能性表示食品		
		加工食品	生鮮食品	添加物	加工食品	生鮮食品	加工食品		生鮮食品
事前相談・指導	件数	11	—	—	—	1	—	—	12
	延回数	21	—	—	—	3	—	—	24

4 歯科保健

(1) 保健福祉サービス連携調整会議（歯及び口腔の健康づくり推進委員会）

神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例に基づき、管内における歯及び口腔の健康づくりに関する事業の効果的かつ円滑な推進を図ることを目的に開催しました。

月日	内 容	出席者数
1月31日	1 神奈川県における歯及び口腔の健康づくりを取り巻く状況について（講演） 講演 “「歯科口腔保健条例」および「口腔保健推進計画」改正” 講師 鶴見大学歯学部 地域歯科保健学教室 鶴本 明久 教授 2 管内における歯及び口腔の健康づくりの中間評価について（報告） 3 管内における歯及び口腔の健康づくり計画について	委員 9 オブザーバー 1

(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町の乳幼児教室や歯科健診と連携し、重度むし歯のリスク要因を有する幼児を早期に把握し、継続的な歯科検診、保健指導、フッ化物塗布等を実施しました。

実施回数	受診者数			予 防 処 置 件 数			初診者の把握経路				
	初 診	再 診	計	フッ化物	フッ化ジ アミン銀	計	教室	1.6歳児	2歳児	その他	計
43	52	126	178	162	7	169	5	29	17	1	52

(3) 障害児者等歯科保健事業

心身に障害をもつ乳幼児を対象に歯科検診・摂食嚥下指導等を、障害者施設及び事業所の利用者を対象に歯みがき指導等を行いました。

ア 乳幼児

市 町 名	実施回数	受診者数			予防処置件数	摂食嚥下指導 件数
		初診	再診	計		
鎌倉市	9	5	7	12	6	8
逗子市	-	-	-	-	-	-
葉山町	1	4	-	4	-	4
計	10	9	7	16	6	12

イ 成人

実施回数	参加者数
12	64

ウ 摂食機能発達支援

摂食機能発達支援として、さくらんぼの会（ダウン症児等の親子の会）、たんぼぼ教室（葉山町療育支援教室）にて、研修会を実施しました。

月日	内 容	講 師	参加者数
10月26日	どうしてうちの子、ちゃんと食べてくれないの？「美味しく食べる」を育てる支援 ～お口の視点から～	鎌倉保健福祉事務所職員 （歯科医師）	保護者 7 葉山町職員 2
12月10日	「Down症の子どもの食支援」	昭和大学歯学部スペシャ ルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門 弘中 祥司 教授	ダウン症児 4 保護者 4 付き添い児 1 母子保健・療育関係者 11

(4) 歯周病予防対策事業

ア 歯周病検診・指導

成人の歯周病予防対策の一環として、主に妊婦を対象に歯と歯ぐきの検診及び歯周病予防の歯みがき実習を行いました。

実施場所	実施回数	受診者数
鎌倉保健福祉事務所	10	20
逗子市保健センター	6	15
葉山町保健センター	5	7
計	21	42

イ 歯間部清掃用具の活用推進

歯間部清掃用具の正しい使用方法等についての実技指導を行いました。

実施回数	受講者数
67	450

(5) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅療養者等のQOL(生活の質)の向上をめざし、訪問による検診、摂食嚥下指導等を行いました。

ア 訪問者数

実人員	延 べ 人 員					計
	6歳以下	7～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	
5	5	—	—	—	—	5

イ 市町別訪問者数(実人員)

区 分	慢性疾患児	その他	計
鎌倉市	—	—	0
逗子市	4	—	4
葉山町	1	—	1
計	5	0	5

(6) 歯の健康づくり事業

「健口かながわ5か条」の普及（リーフレットの配布・説明）を行いました。

普及対象	母子	学童・生徒	成人	高齢者	その他	不明*	総計
普及人数	—	146	29	30	90	756	1,051

*対象者の年齢が特定できないイベントでの普及のため、普及対象を不明と分類しています。

(7) 8020運動推進員養成事業

健口体操（お口の体操）等の普及啓発活動等、歯及び口腔の健康づくりを自主的に実施するボランティア(8020運動推進員)の育成を行いました。

ア 8020運動推進員数【健康増進課主催の養成研修修了者】

鎌倉市	逗子市	葉山町	管内計
2 (57)	1 (83)	8 (27)	11 (167)

() 内は累計数(平成23～30年度)

イ 8020運動推進員育成研修

月日	内 容	受講者数
5月23日	【実践編 3、第1回スキルアップ合同研修】（平成29年度から継続） 1 育成研修修了証授与式 2 総復習 お口の健康体操 3 健口チェックをマスターしよう 4 交流会	推進員 15 聴講者 2
10月31日	【基礎編】 1 養成研修修了証授与 2 「健口体操をマスターしよう」～どんな筋肉が健口体操に関与する？	推進員 17 聴講者 3
11月14日	【実践編 1】 1 「健口体操のマイグッズを作ろう」	推進員 4
12月14日	【実践編 2】 1 どう伝える？健口体操 2 私の活動報告 3 講演：「地域に広げよう、健口体操」 講師：鶴見大学歯学部 地域歯科保健学教室 鶴本 明久 氏	推進員 12 聴講者 1
2月13日	【第2回スキルアップ研修】 「健口体操を楽しもう」 講師 原 真奈美 氏 (全身の体操、お口の体操を実施後、「身体で表現する健口体操コンテスト」を実施)	推進員 16

(8) 災害時歯科口腔保健対応策事業

災害時における地域の歯科口腔保健対応する体制づくりの促進を目的に、市町、歯科医師会との検討会、研修会を実施する。

ア 検討会

開催回数	出席者数（延べ数）				
	鎌倉市	逗子市	葉山町	歯科医師会	合計
4	2	2	1	4	9

イ 研修会

月日	内容・講師	受講者数
2月14日	その時、あなたはどようする？大規模災害時の歯科医療救護と歯科保健活動 東京医科歯科大学大学院 顎顔面外科学分野 助教 中久木 康一 氏	32

(9) 歯科健康教育 * (3) ウ 摂食機能発達支援分を含む

実施回数	参加者数	内容件数（複数計上）				
		う蝕予防	歯周病予防	口腔機能発達支援	高齢者・療養者口腔ケア	その他
5	142	1	-	2	1	4

その他：かながわ健口体操等の実施

(10) 人材の育成（歯科保健に関する研修・講習会）

- ・ 歯科保健に関する研修・講習会

実施回数	受講者数
5	118

受講者内訳数							
歯科医師	歯科衛生士	保健師	栄養士	健康づくり団体	介護保険関係者	その他	市町村職員（再掲）
1	29	16	12	4	-	56	40

(11) その他

電話相談（歯科関連）9件

5 地域福祉

(1) 民生委員・児童委員の活動

地域における福祉活動の中心的役割を担っている民生委員・児童委員の活動に対して、負担金を交付しました。

区分 市町名	定 数			相談件数	活動日数	訪問回数
	民生委員 児童委員	主任児童 委員	計			
鎌倉市	204	20	224	5,804	31,285	29,020
逗子市	74	6	80	2,006	11,771	17,817
三浦市	83	7	90	3,051	12,108	14,525
葉山町	49	3	52	1,052	7,358	5,398
計	410	36	446	11,913	62,522	66,760

(2) 障害福祉相談員の研修

地域における障害福祉ニーズに対応するため、研修会を実施しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
9月6日	鎌倉市福祉センター	相談員のための援助とセルフケア	公立大学法人 山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科 山中 達也 教授	16

※民生委員13人を含む

(3) 地域福祉の人材育成

地域福祉の推進のため、各市町行政職員、市町社会福祉協議会職員等による圏域内地域福祉担当者会議を開催しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
5月24日	鎌倉保健福祉事務所	各機関の地域福祉の取り組みの情報交換等	11

(4) 成年後見制度普及啓発事業

福祉関係者に対して、成年後見制度の理解を深めるため、事例を通じた研修会を実施しました。また、市町成年後見制度担当者・社会福祉協議会担当者等による意見交換会を実施しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
8月10日	鎌倉保健福祉事務所	成年後見制度地域研修会（横須賀・三浦圏域） 講師 横浜弁護士会弁護士 生田 秀 氏	22
8月10日	鎌倉保健福祉事務所	成年後見制度に関する意見交換会 （横須賀・三浦圏域） 出席 県地域福祉課 管内市町社会福祉 協議会等	22

(5) バリアフリーの街づくり普及啓発事業

ア 普及啓発

葉山福祉まつり、みうら市民まつりに参加し、「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」の普及啓発を行いました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
9月23日	葉山町福祉会館	葉山福祉まつりにおいて、色覚障害者擬似体験等	119
11月18日	潮風アリーナ	みうら市民まつりにおいて、色覚障害者擬似体験	40

イ バリアフリー教室の開催

大学生を対象に、バリアフリー教室を開催しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
11月9日	鎌倉女子大学	バリアフリー映画の上映、共生社会、ユニバーサルデザイン、パラリンピックの説明等 対象 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科2年生 協力 公益財団法人交通エコロジーモビリティ財団	251

(6) 横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会の支援

横須賀・三浦障害保健福祉圏域における相談支援等のネットワークの形成を通じて、重層的な相談支援体制を構築し、広域的かつ専門的な支援を行うことにより、障害者の福祉の増進を図る事業を、県から受託する社会福祉法人「湘南の風」の活動を支援しました。

会 議 名	回数
横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会	2

(7) 管内市町等への支援

管内市町、社会福祉協議会及び団体が行う福祉事業について、委員会等の委員を受任し、参画しました。

ア 福祉の推進

会議等名称	回数
鎌倉市介護保険運営協議会(地域包括支援センター運営協議会(兼)地域密着型サービス運営委員会)	3
鎌倉市在宅医療介護連携推進会議	2
鎌倉市障害者支援協議会全体会	1
逗子市自立支援協議会 運営会議・全体会議	3
逗子市自立支援協議会 専門会議(権利擁護部門・差別解消部門)	4
逗子市地域包括支援センター等運営協議会	4
葉山町地域包括支援センター運営協議会	1
葉山町地域密着型サービス運営委員会	1
葉山町保健福祉サービス推進委員会	1
葉山町自立支援協議会全体会	2
横須賀三浦地区ふれあい広場運営委員会・実行委員会	5

イ 計画策定・進行管理

会議等名称	回数
鎌倉市障害者福祉計画推進委員会	1
鎌倉市高齢者保健福祉計画等推進委員会	1
かまくら ささえあい福祉プラン推進等委員会	1
逗子市福祉プラン懇話会	2
逗子市高齢者保健福祉計画懇話会	1
逗子市障がい者福祉計画策定等検討会	3
葉山町介護保険事業計画等運営委員会	1
葉山町地域福祉(活動)計画策定委員会	1

6 介護保険

(1) 介護保険指定事業者指導等事業

介護保険制度の円滑な推進を図るために、県高齢福祉課、各保健福祉事務所、足柄上センター共催で集団指導を行いました。

また、管内に所在する介護保険指定事業者等に対し、実地指導を行いました。

ア 介護保険指定事業者等指導講習会開催状況

月 日	場 所	参加事業所数(管内)
5月21日外 全7日	鎌倉芸術館 小ホール ほか 全7会場	464

イ 介護保険事業所実地指導件数

	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計
1 指定訪問介護	15	5	3	2	25
2 指定訪問入浴介護	0	1	0	0	1
3 指定介護予防訪問入浴介護	0	1	0	0	1
4 指定訪問看護	5	1	1	1	8
5 指定介護予防訪問看護	5	1	1	1	8
6 指定訪問リハビリテーション	0	0	0	0	0
7 指定介護予防訪問リハビリテーション	0	0	0	0	0
8 指定居宅療養管理指導	0	0	0	0	0
9 指定介護予防居宅療養管理指導	0	0	0	0	0
10 指定通所介護	5	1	4	1	11
11 指定通所リハビリテーション	2	0	1	1	4
12 指定介護予防通所リハビリテーション	2	0	1	1	4
13 指定短期入所生活介護	4	2	5	1	12
14 指定介護予防短期入所生活介護	4	2	5	1	12
15 指定短期入所療養介護	2	0	1	2	5
16 指定介護予防短期入所療養介護	2	0	1	2	5
17 指定特定施設入居者生活介護	7	2	3	0	12
18 指定介護予防特定施設入居者生活介護	5	2	3	0	10
19 指定福祉用具貸与	3	1	1	0	5
20 指定介護予防福祉用具貸与	3	1	1	0	5
21 指定特定福祉用具販売	3	2	1	0	6
22 指定特定介護予防福祉用具販売	3	2	1	0	6
23 指定介護老人福祉施設	4	2	6	1	13
24 介護老人保健施設	2	0	1	2	5
25 指定介護療養型医療施設	0	0	0	0	0
計	76	26	40	16	158

(2) 事業者実地指導担当者連絡会議

月 日	場 所	内 容	出席者
5月9日	鎌倉保健福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業者実地指導結果について 平成30年度事業者実地指導計画(案)について 居宅介護支援事業者の実地指導について 神奈川県高齢福祉課からの情報提供等 	鎌倉市高齢者いきいき課、逗子市高齢介護課、三浦市高齢介護課、葉山町福祉課、県高齢福祉課、三崎センター保健福祉課、鎌倉保健福祉事務所保健福祉課

7 生活福祉

(1) 生活保護業務

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法に基づく保護を行い、その最低生活を保障するとともに自立を支援しました。

ア 扶助別被保護世帯数・人員

2019（平成31）年4月1日現在

町名	区分	総数	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	生業扶助	出産扶助	葬祭扶助
	世帯数									
葉山町	世帯数	104	94	82	4	25	89	1	0	2
	人員	132	116	104	5	25	106	1	0	2

※出産扶助・葬祭扶助については平成30年度中の実績

イ 保護開始・廃止

<理由別開始世帯の状況>

2018（平成30）年度

町名	区分	傷世帯主の病	傷世帯員の病	世帯主・員の不在	死・離	稼働収入の減少				減年金	減仕送	消費貯金	その他	計
						失定年	老齢	倒産等	その他					
葉山町		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7	3	12

<理由別廃止世帯の状況>

2018（平成30）年度

町名	区分	病世帯主の癒傷	病世帯員の癒傷	死	失踪	稼働収入の増加	転職	働手	年金	引取	増仕送	施設入所	法医療費負担	転出	その他	計

ウ 世帯類型別被保護世帯の状況

2019（平成31）年4月1日現在

町名	区分	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他の世帯	計
葉山町		61	4	16	9	14	104

エ 労働力類型別被保護世帯の状況

2019（平成31）年4月1日現在

町名	区分	稼働世帯				世帯員稼働	非稼働世帯	計
		世帯主が働いている世帯						
		常用	日雇	内職	その他			
葉山町		10	1	3	0	3	87	104

オ 医療扶助の状況

2019（平成31）年4月1日現在

町名	区分	入院			入院外			計
		精神	その他	小計	精神	その他	小計	
葉山町		3	4	7	3	96	99	106

カ 生活保護施設措置状況

2019（平成31）年4月1日現在

町名	区分	救護施設	更生施設	計
葉山町		0	0	0

キ 保護の開始廃止件数の推移

年 度	2014年度 (平成26)	2015年度 (平成27)	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)
開 始	12	16	11	15	12
廃 止	12	10	18	13	14

ク 保護世帯数等の推移(年度平均)

年 度	2014年度 (平成26)	2015年度 (平成27)	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)
世帯数	107	111	108	105	105
人 員	153	158	149	139	133
保護率 %	4.72	4.92	4.65	4.65	4.25

ケ 生活保護費の状況

(単位：円)

区分 町名	総 額	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	生業扶助	葬祭扶助	施設事務費	就労自立給付
葉山町	124,884,374	71,580,615	49,120,145	525,540	207,912	1,508,503	598,731	258,121	891,720	193,087

(注) 上記経費は当所において直接支出した扶助費ごとの額です。

(2) 特別障害者手当等の支給状況

特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、在宅の重度障害児者に対し、特別障害者手当等を支給しました。

(単位：人)

区分 町名	特別障害者手当等		
	障害児福祉手当	福祉手当(経過措置分)	特別障害者手当
葉山町	10	—	7

(3) 母子福祉資金等の貸付

母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、母子家庭等の経済的自立の助成、生活意欲の助長、児童の福祉の増進等のため、母子福祉資金、父子福祉資金及び寡婦福祉資金の貸付を行いました。

区分 市町名	事業 開始	事業 継続	技能 習得	就職 支度	住宅	転宅	医療 介護	生活	修学	就学 支度	修業	結婚	計
鎌倉市	母子							1	15	4	1		21
	父子												0
	寡婦												0
	小計							1	15	4	1		21
逗子市	母子								18	10			28
	父子								2	1			3
	寡婦												0
	小計								20	11			31
葉山町	母子					1			2	2	1		6
	父子												0
	寡婦												0
	小計					1			2	2	1		6
計	母子					1		1	35	16	2		55
	父子								2	1			3
	寡婦												
	計					1		1	37	17	2		58

(4) 母子・父子自立支援員の設置

福祉事務所に母子・父子自立支援員を設置し、母子家庭、父子家庭及び寡婦家庭の自立に必要な福祉資金の貸付をはじめとして、生活全般にわたる相談・援助を行いました。

<相談援助実施状況（相談回数）>

区分	生活一般								計
	住宅	医療・健康	家庭紛争		就労	養育費	その他	小計	
夫等の暴力			その他						
市町名									
葉山町	2	-	2	7	23	-	0	34	

区分	児童					小計
	養育	教育	非行	就職	その他	
市町名						
葉山町	-	-	-	-	-	0

区分	経済的支援・生活援護										小計	
	母子福祉資		父子福祉資		寡婦福祉資		公的年金	児童扶養手当	生活保護	税		その他
	貸付	償還	貸付	償還	貸付	償還						
市町名												
葉山町	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13

区分	その他					小計
	売店	たばこ販	公営住宅	施設利用	母子生活施設	
市町名						
葉山町	-	-	-	-	-	0

<自立支援給付金事業の実施状況（給付件数）>

自立支援教育訓練給付金	高等技能訓練促進費
2	-

(5) 関連する業務

DV防止法（配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律）に基づき、女性相談所、配偶者暴力相談支援センターと連携し、被害者の自立支援のために相談・援助を行いました。

年度	援助内容	面接	電話	一時保護
2014（平成26）年度		5	1	-
2015（平成27）年度		2	6	1
2016（平成28）年度		2	5	-
2017（平成29）年度		1	4	-
2018（平成30）年度		1	2	-

8 福祉統計

(福祉行政報告例)

対象年月	内 容
平成30年4月～ 平成31年3月	管内(葉山町)の生活保護法に係る状況、障害福祉手当等の認定状況、助産施設・母子生活支援施設在所要者数他

第5章 保健予防課

保健予防課業務

結核・エイズ・感染性疾患の予防対策や、精神保健福祉、難病対策、認知症疾患対策事業等、専門的・技術的な事業の推進を図っています。

1 結核予防

結核患者の発生届出受理後、医療機関と連携して患者の治療完結に結びつけるとともに、家族等の接触者に対して健康診断を行いました。また、結核の基本的かつ正しい知識等を普及し、DOTS（直接服薬確認療法）の積極的な取組みの推進を目的に、医療従事者等に対し研修会及び巡回型結核研修を行いました。

2 感染症予防

平時は、インフルエンザ・感染性胃腸炎等の季節等に応じて一般住民に多く発生する感染症について、定点医療機関からの報告・還元によるまん延防止のための普及啓発をしています。法律に基づく赤痢・腸管出血性大腸菌感染症等の感染症の発生届出等による患者を把握した場合は、患者及びその家族・接触者の疫学調査及び健康診断を行い、原因究明及びまん延防止に努めています。

また、B型・C型肝炎の感染の心配がある方に対し検査及び相談を行うとともに、B型肝炎・C型肝炎ウイルスに感染した方がインターフェロン治療、核酸アナログ製剤治療及びインターフェロンフリー治療を受ける場合の医療費助成事務を行いました。

3 エイズ予防

感染の予防と早期発見のために HIV、梅毒の相談・検査を実施しました。また、中学生・高校生等の若い世代を中心に、エイズや性感染症に対する正しい知識の普及啓発を図りました。

4 難病対策

特定疾患・指定難病患者への医療給付・医療費助成事務を行うとともに、難病患者及びその家族を対象に訪問指導を行うほか、講演会及び交流会等を開催しました。また、地域の実情に応じた難病患者とその家族の支援体制整備のため、難病対策地域協議会を開催しました。

5 原爆被爆者援護

被爆者健康手帳等交付申請・各種の手当支給申請・医療援護等の事務と、定期健康診断を行いました。

6 認知症対策

認知症患者とその家族に対して、専門医や保健師による相談・訪問指導を行いました。また、徘徊高齢者を早期に発見するため、市町が設置している地域ネットワークが円滑に運営されるよう支援しました。更に、地域における認知症対策の推進のため、処遇困難事例に関する研修会を開催しました。

7 精神保健福祉

精神疾患の早期発見・早期治療や再発防止を図るため、専門医による定例相談・訪問及び福祉職・保健師による随時相談・訪問を行うとともに、精神障害者の生活支援、社会復帰の促進のため、関係団体等の育成及び活動の支援を行いました。自殺対策の取り組みとしては地域の関係機関と連携して普及啓発のための研修会開催や関係機関職員に対して研修会を開催しました。今年度から新たに、地域包括ケアシステム構築のための協議の場として「地域で暮らそう検討会」を開催しました。また、9月から措置入院者等本人のニーズに応じた退院後支援計画による支援が始まりました。

1 結核予防

(1) 健康診断

経過観察中の結核患者に対する管理検診、患者家族・接触者に対する健康診断を実施しました。

区分	対象者	受診者		受診結果		
		保健所	受診券交付	要医療	経過観察	異常なし
管理検診	12	—	12	0	10	2
接触者健康診断	120	79	41	11	22	85

※ 医療機関の継続受診分は除く

(2) 保健指導

適切な治療の確保、医療中断の防止、家族・接触者に対する感染予防、発病予防等の指導を実施しました。

家庭訪問		所内指導(延人数)			
実人数	延人数	電話	面接	文書	計
42	63	851	134	212	1197

(3) 結核医療従事者研修

結核予防思想の普及啓発のため、管内の医療機関担当者等を対象に研修を開催しています。

月日	内容	講師	参加人員
11月27日	結核早期診断・早期治療	公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部長 吉山 崇氏	48

(4) 巡回型結核研修

結核の基本的かつ正しい知識等の普及啓発のため、管内医療機関、介護サービス提供者職員を対象に研修を開催しました。

開催日	対象者	講師	参加人員
6月22日	あさひ訪問介護ステーション	鎌倉保健福祉事務所 職員(医師、保健師)	9
8月7日	逗葉地域医療センター(訪問介護)	鎌倉保健福祉事務所 職員(医師、保健師)	17
9月7日	社会福祉法人 湘南の風	鎌倉保健福祉事務所 職員(医師、保健師)	20
9月21日	葉山ハートセンター	鎌倉保健福祉事務所 職員(医師、保健師)	152
11月30日	鎌倉リハビリテーション 聖テレジア病院	鎌倉保健福祉事務所 職員(医師、保健師)	134

(5) 結核コホート検討会

結核治療を終了した患者の治療経過や菌検査の確認などを振り返り、予防可能例の検討および服薬支援実施活動の評価を行い、地域DOTS(服薬支援)体制の強化と神奈川県結核対策の推進を図っています。

(※平塚保健福祉事務所と交代で開催)

開催日	開催場所	講師	参加人員
8月29日	平塚保健福祉事務所	公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部科長代理 浦川 美奈子氏	23
2月26日	鎌倉保健福祉事務所	公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部科長代理 浦川 美奈子氏	26

(6) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 新登録患者数 45名 (活動性分類別・市町別・年齢別) 2018(平成30)年1月1日～12月31日

区分		活動性結核 (内訳)					潜在性結核
		計	肺結核			肺外結核	
			喀痰塗抹陽性	その他の結核菌陽性	菌陰性その他		
2018(平成30)年		36	15	14	2	5	9
市町 村別	鎌倉市	21	8	10	2	1	6
	逗子市	12	7	2	0	3	2
	葉山町	3	0	2	0	1	1
年齢別	0～4歳	0	0	0	0	0	0
	5～9歳	0	0	0	0	0	0
	10～14歳	0	0	0	0	0	0
	15～19歳	0	0	0	0	0	0
	20～29歳	1	1	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	2	0	1	1	0	1
	50～59歳	2	0	1	0	1	2
	60～69歳	5	2	3	0	0	1
	70～79歳	9	3	2	1	3	4
80歳～	17	7	6	0	4	1	

(イ) 総登録患者数 47名 (受療別・市町別・年齢別) 2018(平成30)年12月31日現在

区分		計	活動性肺結核	活動性肺外結核	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核
2018(平成30)年		31	6	2	18	5	16
受療別	入院	1	1	0	0	0	2
	在宅医療	7	5	2	0	0	4
	経過観察	23	0	0	18	5	10
	不明	0	0	0	0	0	0
市町 村別	鎌倉市	15	4	0	10	1	10
	逗子市	13	2	1	6	4	4
	葉山町	3	0	1	2	0	2
年齢別	0～4歳	2	0	0	2	0	1
	5～9歳	0	0	0	0	0	1
	10～14歳	0	0	0	0	0	0
	15～19歳	0	0	0	0	0	0
	20～29歳	2	0	0	0	2	0
	30～39歳	1	0	0	1	0	0
	40～49歳	2	0	0	1	1	0
	50～59歳	1	0	0	0	1	4
	60～69歳	4	2	1	1	0	3
	70～79歳	9	1	1	7	0	4
80歳～	11	3	1	7	0	3	

イ 結核登録状況の推移

各年12月31日現在登録患者数/人口×10万

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
2014(平成26)年	3,556	39.1	75	28.4	58	33.4	12	20.7	5	15.4
2015(平成27)年	3,426	37.5	72	27.5	51	29.5	17	30.1	4	12.4
2016(平成28)年	3,213	35.5	79	30.2	53	31.0	20	35.0	6	19.1
2017(平成29)年	3,028	33.1	76	28.8	43	24.9	24	41.7	9	26.9
2018(平成30)年	47	17.9	25	14.5	17	29.8	5	15.0

(注) 潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

ウ 結核り患状況の推移

新登録患者数/人口×10万

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率
2014(平成26)年	1,329	14.6	26	9.8	19	10.9	6	10.4	1	3.1
2015(平成27)年	1,311	14.4	31	11.8	17	9.8	11	19.5	3	9.3
2016(平成28)年	1,192	13.0	33	12.6	23	13.3	7	12.2	3	9.3
2017(平成29)年	1,143	12.5	46	17.4	25	14.5	11	19.1	10	29.9
2018(平成30)年	36	13.7	21	12.2	12	21.0	3	9.0

(注) 潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

エ 活動性肺結核有病状況の推移

各年12月31日現在活動性結核患者数/人口×10万

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	登録数	有病率	登録数	有病率	登録数	有病率	登録数	有病率	登録数	有病率
2014(平成26)年	937	10.3	23	8.7	16	9.2	6	10.4	1	3.1
2015(平成27)年	922	9.9	24	9.2	15	8.7	6	10.6	3	9.3
2016(平成28)年	785	8.6	18	6.9	11	6.4	5	8.7	2	6.2
2017(平成29)年	734	8.0	16	6.0	11	6.3	3	5.2	2	6.0
2018(平成30)年	7	2.7	4	2.3	2	3.5	1	3.0

(注) 潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

(7) 感染症診査協議会・結核部会

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく入院勧告及び公費負担の申請医療内容の適否について、必要な事項を審議しました。

・ 入院勧告及び医療費公費負担診査件数

2018(平成30)年1月1日～12月31日

区分	20条 入院勧告	37条の2	保険内訳						
			被用者保険		国民健康保険		高齢 医療	生活 保護	その他
			本人	家族	一般	退職本 人・家族			
申請件数(計)		73	14	3	10	1	45	0	0
医療内容合格		73	14	3	10	1	45	0	0
公費負担承認		73	14	3	10	1	45	0	0
公費負担不承認		0	0	0	0	0	0	0	0
入院勧告件数	17								
入院延長	34								

2 感染症予防

(1) 全数把握対象疾患情報（結核は除く）

ア 発生状況（鎌倉保健福祉事務所への発生届／調査依頼）

- ・患者居住地に関わらず、管内の医療機関からは鎌倉保健福祉事務所に発生届が提出されます。
- ・他の保健所が受理した発生届の患者・接触者等について、所在地が管内の場合には通報や調査依頼があります。

類型	疾患名	2018(平成30)年度 (件数)		2017(平成29)年度 (件数)	
		発生届	調査依頼等	発生届	調査依頼等
三類	細菌性赤痢	1	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	5	2	2	3
	腸チフス	-	1	-	-
	パラチフス	1	-	2	3
	(小計)	7	3	4	6
四類	E型肝炎	3	-	-	-
	A型肝炎	6	1	-	-
	オウム病	-	1	-	-
	つつが虫病	-	-	1	-
	デング熱	1	-	3	-
	レジオネラ症	6	1	1	-
	(小計)	16	3	5	0
五類	アメーバ赤痢	3	-	1	-
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	-	4	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	1	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	-	2	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	-	9	-
	梅毒	5	-	3	-
	百日咳	20	-	-※	-
	播種性クリプトコックス症	-	-	2	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	2	-
	風しん	10	12	-	-
	麻疹	-	3	-	3
	(小計)	48	15	24	3

※百日咳は平成30年1月1日から全数把握対象疾患となりました。

イ 患者・接触者疫学調査実施状況（他の保健所からの調査依頼等を含む）

類型	疾患名	調査数	患者	接触者	検査数	保菌者数	備考（海外渡航先、検査結果）
三類	細菌性赤痢	1	1	11	6	-	
	腸管出血性大腸菌感染症	7	5	6	11	1	
	腸チフス	1	-	1	-	-	
	パラチフス	1	-	1	-	-	
四類	E型肝炎	2	3	-	3	3	G3型
	A型肝炎	6	7	-	5	5	1A型、3A型
	オウム病	1	1	-	-	-	
	デング熱	1	1	-	1	1	フィリピン滞在 D2型
	レジオネラ症	7	5	14	5	1	レジオネラニューモ フィラ血清群1
五類	風しん	20	14	40	11	8	検査結果が陰性のため 3件届出取り下げ
	麻疹	5	2	10	13	1	検査結果が陰性のため 12件届出取り下げ

(2) 感染症施設集団発生報告

社会福祉施設等における感染症集団発生に係る報告に対し、相談・調査・保健指導を行いました。

報告施設		感染性胃腸炎		インフルエンザ	
		2018年度 (平成30)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2017年度 (平成29)
社会福祉 施設等	特別養護老人ホーム	1	1	3	2
	有料老人ホーム	-	1	4	6
	介護老人保健施設	-	-	3	2
	通所介護施設	-	-	-	3
	認知症グループホーム	-	-	-	-
	障害者支援施設	-	1	2	1
	知的障害児通園施設	-	-	-	-
その他	保育所	3	-	14	16
	幼稚園	-	-	-	-
	医療機関	-	-	2	1
報告件数合計		4	3	28	31

(3) 集団かぜ（インフルエンザ）による臨時休業状況（延べ数）

施設	2018(平成30)年度 (2018/19シーズン)					2017(平成29)年度 (2017/18シーズン)				
	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	患者数	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	患者数
保育所							-	-	-	-
幼稚園	4	3	1		57	6	2	-	6	96
小学校	87		9	78	809	89	-	7	132	849
中学校	24		6	18	386	14	-	2	18	150
高校	3			3	33	4	-	-	5	51
その他										
計	118	3	16	99	1,285	113	2	9	161	1,146

(4) 感染症予防対応研修

月日	内容	対象	講師	参加人数
9月4日	感染症予防対応研修 (関係職員向け)	鎌倉保健福祉事務所及び三崎セン ター関係職員、管内市町職員	鎌倉保健福祉事務所 職員(医師、保健 師)	18
10月10日	保健衛生研修再掲 (掲載ページ18) 現場でできる感染症対策 第1回「日頃の対策編」			
10月26日	保健衛生研修再掲 (掲載ページ18) 現場でできる感染症対策 第2回「いざという時の実践編」			

(5) 肝疾患対策

ア C型及びB型肝炎ウイルス検査実施状況（平成20年1月～無料検査実施）

区分	2014(平成26)年度		2015(平成27)年度		2016(平成28)年度		2017(平成29)年度		2018(平成30)年度	
	来所に よる検査	検査受診 券の発行	来所に よる検査	検査受診 券の発行	来所に よる検査	検査受診券 の発行	来所に よる検査	検査受診券 の発行	来所に よる検査	検査受診 券の発行
C型肝炎	4	3	5	2	4	2	8	2	11	0
B型肝炎	5	2	5	2	4	2	8	1	11	0

イ 肝炎治療医療費助成制度の申請者数

区分	年度	2014年度 (平成26)	2015年度 (平成27)	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)
		インター フェロン治 療	申請者数	4	2	1
	承認数	4	2	1	0	0
	不承認数	0	0	0	1	0
3剤併用 療法	申請者数	24	0	0	0	0
	承認数	24	0	0	0	0
	不承認数	0	0	0	0	0
インター フェロン フリー治療	申請者数	58	214	59	48	26
	承認数	57	213	59	48	26
	不承認数	0	1	0	0	0
核酸アナロ グ製剤治療	申請者数	101	111	124	99	116
	承認数	100	111	124	99	116
	不承認数	1	0	0	0	0

3 エイズ予防

HIV、梅毒の感染拡大を防ぐため、相談・検査事業を実施したほか、正しい知識の普及・啓発を行いました。

(1) HIV、梅毒相談・検査

ア HIV、梅毒相談・検査実施状況

区 分	2014年度 (平成26)	2015年度 (平成27)	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)
相 談	112	58	62	80	146
検 査	56	29	34	38	72 (71)

() 内は梅毒検査数

※平成30年3月より希望者へは梅毒検査を同時に実施しています。

イ HIV、梅毒検査（性・年齢別）実施状況

区 分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不明	計
男	—	8 (8)	9 (9)	10 (10)	5 (5)	12 (12)	—	44 (44)
女	1 (1)	12 (12)	9 (8)	5 (5)	1 (1)	—	—	28 (27)

() 内は梅毒検査数

(2) エイズ性感染症予防普及事業

- ・ 青少年エイズ・性感染症予防講演会（3回：277名）

月 日	実施校名	対象	受講者数
7月12日	鎌倉市立第一中学校	3年生	92
3月1日	逗子市立逗子中学校	3年生	121
3月1日	鎌倉市立第二中学校	3年生	64

4 難病対策

原因不明で治療方法が未確立の特定疾患・指定難病患者に対し、医療給付・医療費助成申請を受け付けるとともに、各種相談事業を実施しました。

(1) 特定疾患医療給付

受給者数 計1名（スモン）

(2) 指定難病医療費助成

受給者数 計1,783名

(3) 相談

保健師による所内指導を行いました。

区分	面接	電話	文書	計
件数	47	206	23	276

(4) 訪問指導

保健師による訪問指導を行いました。

区分	膠原病		血液系		循環器系		神経系		消化器系		計	
	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数
件数	—	—	—	—	—	—	18	31	—	—	18	31

(5) 医療相談等

在宅療養中の難病患者と家族の療養生活上の不安を解消し、QOLの向上を図るため、疾患や療養生活についての講演会、交流会及び相談会を開催しました。

区分	回数	対象疾患	内容	講師等	参加人員
講演会・交流会	1	脊髄小脳変性症	・講演「脊髄小脳変性症と付き合っていくために～病気の理解と対応～」 ・体験発表・活動紹介 ・交流会（情報交換）	・湘南鎌倉総合病院神経内科部長 川田 純也 氏 ・特定非営利活動法人 全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会事務局 小原 まりな 氏・村田 明弘 氏	38
相談会	20	全疾患	個別相談	鎌倉保健福祉事務所職員（保健師）	36

(6) 難病対策地域協議会

地域における難病患者の支援体制に関する課題を共有し、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行いました。

月 日	内 容	参加機関	出席人員
3月6日	議題 「管内における在宅神経難病患者等への支援及び在宅難病患者の災害時支援対策について」 (1) 各関係機関の取組み状況と課題の共有 (2) 意見交換	医師会、医療機関、NPO法人神奈川県難病団体連絡協議会、神奈川県訪問看護ステーション連絡協議会横三地区、管内地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、管内市町、学識経験者	15

(7) 従事者研修

難病患者の支援に携わる関係者を対象に、研修会を開催しました。

月 日	内 容	講師等	参加人員
12月18日	人工呼吸器の基礎知識 ・講演「人工呼吸器の基礎知識～在宅での注意点と緊急時の備え～」 ・演習「触ってみよう在宅用人工呼吸器」	北里大学東病院 ME部 技師長補佐 白井 敦史 氏	24

5 原爆被爆者援護

原子爆弾被爆者援護法及び神奈川県原子爆弾被爆者等の援護に関する要綱に基づき、定期健康診断を実施するとともに、被爆者及びそのこどもを対象に被爆者健康手帳等の交付申請や医療費・各種手当の支給申請を受け付けました。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

区 分	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
被爆者健康手帳	147	41	10	198
第一種健康診断受診者証	—	1	—	1
第二種健康診断受診者証	2	2	—	4
被爆者のこども健康診断受診証	183	66	20	269
計	332	110	30	472

(2) 被爆者等定期健康診断受診状況

区 分	被爆者	特例受診	被爆者のこども	計
2016(平成28)年度計	4	—	5	9
2017(平成29)年度計	3	—	3	6
2018年度 (平成30)	第1回 5月	1	—	2
	第2回11月	1	—	1
	計	2	—	3

6 認知症対策

認知症患者及びその家族が地域の中でよりよい生活が送れるように、相談・訪問指導を行うとともに、地域の関係者への支援を実施しました。

(1) 相談事業

ア 相談内容

区 分	件数(実)	内 容 (延べ件数)						
		疾病一般	問題行動	治療	看護介護	介護者の問題	介護者の支援	その他
定例相談	5	1	4	1		1	2	
随時相談	16	1	8	4	2	1	4	2
計	21	2	12	5	2	2	6	2

イ 相談対象・方法

区 分	件数(延)	対 象		方 法			
		新規相談	継続相談	電 話	面 接	訪 問	文書等
定例相談	9	9			8	1	
随時相談	50	17	33	44	1	4	1
計	59	26	33	44	9	5	1

(2) 訪問指導

日常生活に看護や介護を要する本人及び家族に対し、認知症の対応について助言・指導を行いました。

性別	男		女		計	
	実 数	延べ数	実 数	延べ数	実 数	延べ数
	8	39	10	32	18	71
年齢別	～69歳	70歳代	80歳～	実数		
	7	7	4	18		

(3) 処遇困難事例検討事業

高齢者の尊厳が尊重される社会の実現に向け、認知症や高齢者虐待についての理解を深め、必要な体制が整備されるよう、研修会や事例検討会等を実施しました。

ア 研修会及び講演会

月 日	内 容	講 師	参加人員
10月3日	認知症サポーター養成講座 「認知症の理解と認知症の人への対応」	保健予防課 保健師 保健福祉課 福祉職	15
1月11日	若年性認知症研修 「若年性認知症について」	久里浜医療センター 若年性認知症コーディネーター 古屋富士子 氏 保健予防課 保健師	14
2月25日	若年性認知症研修 テーマ① 「若年性認知症の医学的基礎知識」	久里浜医療センター 副院長 松下 幸生 氏	13
	テーマ② 「当事者の思いを知ろう」	若年性認知症当事者 当事者の支援者 久里浜医療センター 若年性認知症コーディネーター 古屋富士子 氏	
3月13日	高齢者虐待防止研修会 「がんばっている自分に目を向けて！ 明日から実践できる自分ケア」	AAA研究会 (高齢者虐待防止のための安心づ くり安全探しアプローチ) 松尾 隆義 氏	18

イ 管内認知症担当者連絡会議

月 日	内 容	参加人員
1月25日	1 認知症事業の取り組み状況について 2 認知症地域支援推進員及び認知症初期集中支援事業の取り組み状況について	6

・認知症の方を支える家族会（かまくらりんどうの会：自主グループ）、一般社団法人かまくら認知症ネットワーク（自主グループ）との情報共有、必要時の支援を行いました。

(4) 地域支援

・鎌倉・逗子・葉山徘徊高齢者SOSネットワークにより徘徊により行方不明となった方の早期発見・保護のため関係機関に連絡調整を行いました。

ア 管轄外から広域依頼された件数

内容	鎌倉市	逗子市	葉山町
SOSネットワーク依頼件数	2(2)	1	5(2)
広域依頼せず解除された件数	2(2)	1	0
広域依頼した件数	0	0	4(2)
広域依頼して解除された件数	0	0	1(1)
広域依頼継続中の件数	0	0	1(1)

※管轄外からの搜索広域依頼された件数62件

イ 身元不明高齢者の保護数

内容	鎌倉市	逗子市	葉山町	管轄外
身元不明高齢者が保護された件数	0	0	0	5

7 精神保健福祉

(1) 相談・訪問指導

受診、病気の治療、日常生活、社会復帰等について、医師、保健師、精神保健福祉士等が相談・訪問を行いました。

ア 把握区分

区分	人数		保健所 把握新 (注1)	年度新 (注2)	再
	実人員	延べ人員			
相談	449	1,773	346	103	1,324
訪問	68	270	6	62	202

注1) 保健所で初めて取り扱ったケースをさす

注2) 過去に把握したが平成30年度に再度相談・訪問したケース

イ 相談（性別・年齢別）

区分	計	性別			年齢									
		男	女	不明	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明
実人員	449	213	233	3	0	21	29	38	111	79	40	34	27	70
延べ人員	1,773	790	980	3	0	52	55	111	519	384	201	303	57	91

ウ 訪問（性別・年齢別）

区分	計	性別			年齢									
		男	女	不明	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明
実人員	68	29	39	0	0	0	3	6	17	22	7	7	4	2
延べ人員	270	143	127	0	0	1	4	22	84	85	44	21	6	3

エ 相談・訪問契機別

区分	実人員	市町村	医療機関	家族	本人	その他
相談	449	47	27	140	103	132
訪問	68	8	8	7	28	17

オ 相談・訪問問題別

区分	計	治療の問題	生活上の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相談	1,773	878	661	139	42	53
訪問	270	151	105	8	3	3

カ 相談者数 ※ 内訳は複数回答

区分	計	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相談	1,946	580	438	250	215	463
訪問	586	195	107	78	89	117

キ 診断名

区分	実 人 員	失 調 症 合	認 知 症	情 気 分 障 害 感	て ん か ん	ア ル コ ホ ール 依 存	薬 物 依 存	人 格 障 害	成 人 障 害	ス ト レ ス	精 神 障 害	診 断 保 留	認 異 め 常 ず と	未 受 診	不 明
相 談	449	119	14	53	1	35	6	5	13			20	11	53	93
訪 問	68	35	3	6	0	4	3	1	1			1	0	7	2

ク 担当者 (延人数)

	医 師	福 祉 職	保 健 師	そ の 他	延 件 数
相 談	56	1,582	15		1,662
訪 問	8	233	2		259

(2) 教育広報活動

ア 精神保健福祉協力者の育成指導

鎌倉市民を対象にした精神保健福祉ボランティア養成講座である精神保健福祉セミナーの運営委員会に出席し、企画・実施・講義等の支援を行いました。

月 日	内 容	回 数
4月～1月	鎌倉市精神保健福祉セミナー運営委員会への出席	6
9月26日	精神保健福祉セミナーでの講義 「精神保健福祉の歴史及び関連法律について」	1

(3) 団体支援及び連携

相談支援事業所等の連絡会、断酒会（鎌倉返子断酒会）に参加し、助言を行いました。

区 分	回数	内 容
断酒会	1	断酒会酒害相談員研修会
その他	6	地域生活サポートセンターとらいむ運営委員会、神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会鎌倉返葉ブロック会議等

(4) 社会復帰の支援

ア 集団指導活動

アルコール依存症の本人・家族を対象にアルコール教室を実施しました。

区 分	回数	参加人員		内 容
		実人員	延べ人員	
アルコール教室	12	28	71	アルコール依存症の学習、グループミーティング

イ 普及啓発

関係機関を対象として、病気や障害についての正しい理解を促す機会として精神保健福祉セミナー、およびスキルアップセミナーを実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加人員
6月4日	精神保健セミナー「統合失調症について」	メンタルホスピタルかまくら山 医師 原田 久 氏	70
10月25日 ※	アルコール問題のある方への援助に動機づけ面接を活かす	北里大学医学部精神科学 医師 澤山 透 氏	62

※精神保健福祉センターと共催

(5) 精神保健福祉業務（法定業務）

精神保健福祉法に基づく精神保健指定医による診察や、精神科病院の实地指導・实地審査を行い、病院の実態を把握し、よりよい医療や入院制度の適正化を図りました。また、医療観察法対象者に対して地域定着に向けた支援を行いました。

ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく申請・通報（23条）に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。（今年度は22条に基づく申請はありませんでした。）

区分	件数	指定医診察実施				不実施	
		措置	不要措置			受療指導等	その他
			入院	入院外	医療不要		
23条	41 (25)	21(15)	1(0)	4(1)	1(1)	10 (8)	4 (0)

()内は夜間・休日の精神保健福祉センター扱い件数

イ 措置入院者退院後支援

措置入院患者が退院後に地域でその人らしい生活を安心して送れるように、同意の得られた者の医療等の退院後支援計画を立てて支援を実施しました。（神奈川県措置入院者等退院後支援ガイドライン 平成30年9月から開始）

退院後支援計画の同意者 3名

ウ 精神科病院实地指導・实地審査（法38条の6）

（ア）精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する实地指導

月日	施設名
10月12日	メンタルホスピタルかまくら山
1月31日	福井記念病院

※福井記念病院については三崎センターと合同実施

（イ）精神保健福祉法に基づく实地審査（医療保護入院者・任意入院者の精神保健指定医の診察）

施設名	措置入院			医療保護入院			任意入院		
	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要
メンタルホスピタルかまくら山	—	—	—	2	—	—	1	—	—
福井記念病院	—	—	—	4	—	—	2	—	—

エ 医療保護事務

区分	件数
入退院届（法33の1他）	638
定期病状報告（法38条の2）	132

オ 医療観察法

内容	回数
医療観察法対象者ケア会議・訪問等	34

(6) 会議

関係各機関・団体を対象に、管内の地域特性に応じた精神保健福祉対策の推進について、会議を開催しています。地域包括ケアシステム構築のための協議の場を新たに設け、地域課題の検討をすすめました。

ア 保健福祉サービス連携調整会議（地域精神保健福祉委員会）

月 日	内 容	出席人員
3月1日	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築のための地域課題について	24

イ 管内市町等精神保健福祉担当者連絡会

月 日	出 席 者	内 容	出席人員
5月31日	市町精神保健福祉担当者 管内相談支援事業所 精神科病院等	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場について	16

ウ 横須賀三浦・藤沢地域精神科病院関係機関連絡会

月 日	出 席 者	内 容	出席人員
9月21日	市町精神保健福祉担当者 精神科病院 精神科クリニック	テーマ：精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの理解と地域の連携を考える 講師：相談支援センターくらふと 吉澤浩一氏	42

エ 地域で暮らそう検討会（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム検討会）

月 日	出席者	内容	出席人数
6月26日	精神科病院、行政機関、相談支援事業所、ピアサポーター、包括支援センター、訪問看護ステーション等	メンタルホスピタルかまくら山長期入院者の現状と課題 地域の支援体制の課題について 長期入院者の退院支援について	23
10月30日		福井記念病院長期入院者の現状と課題 地域関係機関の支援状況	27

オ コンサルテーション

具体的な事例について精神保健福祉センター医師、専門職から助言を得ました。

月 日	出 席 者	内 容	出 席 延 人 員
6月4日 2月14日 2月27日	市町障害担当者・相談支援事業所、地域包括支援センター、鎌倉保健福祉事務所職員等 助言者 精神保健福祉センター医師、福祉職	地域で対応に苦慮している ケースの検討や助言	38

カ その他会議への出席

会 議 名	回 数
鎌倉市障害者支援協議会全体会	3
鎌倉市自立支援協議会専門部会	4
かまくら成年後見制度連絡会	1
逗子市障がい福祉計画策定等検討会	3
逗子市自立支援協議会全体会	7
逗子市自立支援協議会専門部会	3
逗子市自立支援協議会専門会議	7
逗子市地域包括ケア会議	2
葉山町障害者福祉計画策定委員会	4
鎌倉市生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議	6
鎌倉市自殺対策計画推進委員会	4
逗子市自殺対策計画策定委員会	1
葉山町自殺対策計画策定委員会	4

(7) こころといのちのサポート事業

ア いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会

地域の自殺対策の一環として、実行委員会を開催し、関係機関とのつながりを強化し、研修会等による命の大切さの理解、自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及啓発に努めました。

実行委員：鎌倉市・逗子市・葉山町鎌倉市社会福祉協議会・逗子市社会福祉協議会・葉山町社会福祉協議会・地域生活サポートセンターとらいむ・鎌倉保健福祉事務所

開催回数：6回

<研修会>

月 日	場 所	内 容	参加人員
9月9日	鎌倉市福祉センター	自殺予防対策講演会 テーマ「あなたは大切な人～こころのSOSに気づくために～」 講師 自己尊重トレーニングトレーナー 北村 年子 氏	64

<普及啓発>

月 日	場 所	内 容	参加者	参加人員
3月5日 6日、8日	大船駅、鎌倉駅、逗子駅	普及啓発のカード入り ティッシュ配布、展示等	いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員、民生委員、行政職員等	30

イ 社会的ひきこもり支援事業

狭義の精神疾患が原因ではない「社会的ひきこもり」を対象に支援事業を実施しました。

<講演会> (青少年センター、精神保健福祉センター、藤沢市保健所、茅ヶ崎市保健所と共催)

月 日	場 所	内 容	参加人員
9月6日	茅ヶ崎市役所分庁舎	テーマ：不登校・ひきこもりの理解～気になる様子の理解と家族ができることを考える 講師：横浜市立大学附属病院児童精神科 青山久美氏	84 (延べ)
9月19日	茅ヶ崎市役所分庁舎	テーマ：不登校・ひきこもり体験者と支援者の体験談 講師：ひきこもり体験者、青少年センターNPO相談・支援アドバイザー	

ウ 研修会

保健福祉事務所職員や管内の関係機関職員を対象にゲートキーパーの研修を開催しました。

ゲートキーパー（こころサポーター）養成研修及びフォローアップ研修

月 日	場 所	内 容	対象	参加人員
12月14日	鎌倉保健福祉事務所	ゲートキーパー養成研修	鎌倉保健福祉事務所職員	7
2月7日	鎌倉保健福祉事務所	ゲートキーパー フォローアップ研修	死にたい…にどう対応するか 講師：NPO法人OVA 伊藤次郎氏	30

第6章 環境衛生課

環 境 衛 生 課 業 務

安全で衛生的なことに加え、より快適な生活環境を確保するため、生活衛生営業施設、海水浴場、特定建築物、水道施設等の衛生確保及び動物の愛護と管理を推進しています。

また、医薬品等の有効性及び安全性の確保、毒物劇物による危害防止に努めています。

1 生活衛生営業施設等の衛生確保

生活衛生営業施設（理・美容所、クリーニング所、興行場、公衆浴場及び旅館等）、住宅宿泊事業施設、海水浴場、プール等の許認可並びに監視指導を実施するとともに、業種に応じた衛生講習会を開催し、営業者による自主管理を推進しています。

また、海水浴場の海水の水質検査を行っています。

2 生活環境施設等の衛生確保

浄化槽、専用水道・貯水槽水道等の維持管理の指導や多数の人が利用する大規模建築物（特定建築物）の衛生管理の指導を行っています。

また、室内環境に起因する健康被害（アレルギー、シックハウス症候群）の軽減と未然防止のため、情報提供や個別相談等を実施しています。

3 動物の愛護と管理

犬・猫等の飼育に係わる苦情・相談の業務や正しい飼い方の指導を行うとともに、犬によるこう傷事故等の業務を行っています。

4 医薬品等の安全性確保

薬局、医薬品販売業、医薬品製造業等の許認可、監視指導を実施しています。

毒物劇物による危害を防止するため、毒物劇物販売業、毒物劇物業務上取扱者等に対し、毒物劇物の適正な取扱を指導しています。

また、危険ドラッグなどの薬物乱用防止対策を推進するため、街頭キャンペーンや学校等で開催される薬物乱用防止教室で啓発活動を行うとともに、関係機関との情報共有に努め連絡調整を行っています。

1 生活衛生関係営業施設等の衛生確保

(1) 生活衛生関係営業施設数及び監視指導状況

生活衛生関係営業施設の構造設備、衛生措置等について、監視指導を実施しました。

業種	項目 施設数	市町別施設数内訳				許可(届出) 件数	廃止 件数	監視指導 件数
		鎌倉市	逗子市	葉山町	その他			
理容所	109	75	24	10	—	3	4	27
美容所	455	297	113	43	2※	37	21	143
クリーニング所	137	92	33	12	—	5	7	51
旅館	148	101	11	36	—	32	9	106
興行場	5	3	1	1	—	2	2	15
公衆浴場	37	26	6	5	—	0	0	19
住宅宿泊事業	81	53	14	14	—	85	4	72
計	972	647	202	121	2	164	47	433

※ 移動美容所

(2) 水浴場等施設数及び監視指導状況

水浴場、更衣休憩所及びプールの衛生管理と危険防止策について、監視指導を実施しました。

業種	項目 施設数	市町別施設数内訳			監視指導 件数
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
水浴場	7	3	1	3	67
更衣休憩所	71	20	35	16	605
プール	29	18	6	5	21
計	107	41	42	24	693

(3) 講習会開催状況

対象者	開催回数	参加人員
水浴場関係営業	3	128
旅館業	2	70
美容所営業	3	127
計	8	325

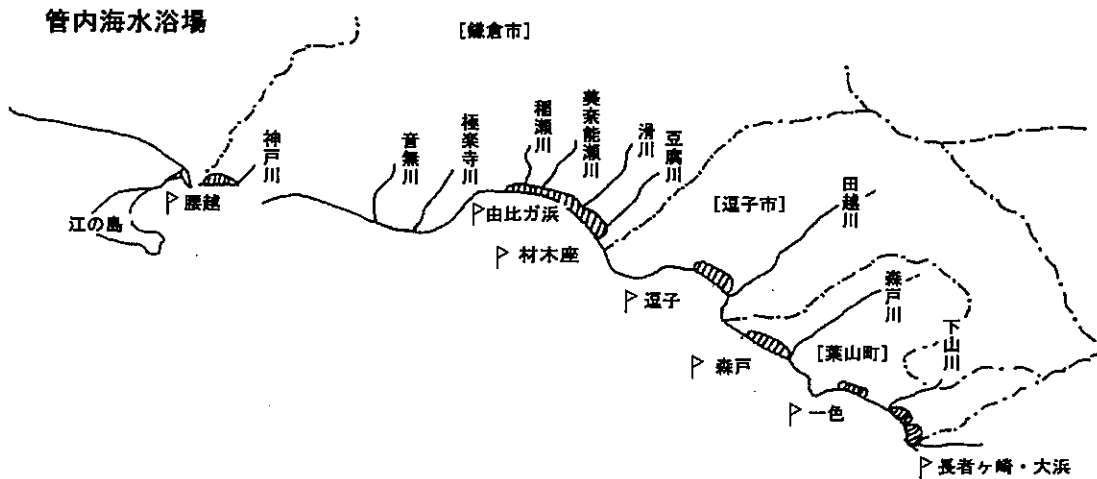
(4) 免許事務取扱い件数

業種	申請	書換・訂正	返納
クリーニング師	1	0	0

(5) 海水浴場の水質検査実施状況

管内7海水浴場（10地点）の水質検査を実施しました。

海水浴場	実施時期	ふん便性大腸菌群数 (個/100ml)		C O D (mg/l)		透明度 (m)	p H MIN~MAX	油膜	判定	
		MIN~MAX	平均値	MIN~MAX	平均値					
鎌倉	腰越	シーズン前	2~6	4	0.6~2.4	1.6	>1	8.2	無	A
		シーズン中	<2~2	<2	2.5~3.1	2.9	>1	8.3~8.4	無	B
	由比ガ浜	シーズン前	2~74	22	0.5~3.0	1.6	>1	8.2	無	A
		シーズン中	<2	<2	1.6~3.6	2.4	>1	8.2~8.4	無	B
	材木座	シーズン前	<2~22	6	0.8~2.4	1.5	>1	8.1~8.2	無	A
		シーズン中	<2~2	<2	2.0~2.7	2.3	>1	8.3~8.4	無	B
逗子	逗子	シーズン前	<2~12	4	0.9~2.6	1.5	>1	8.0~8.2	無	A
		シーズン中	<2~2	<2	1.7~2.6	2.2	>1	8.3~8.4	無	B
葉山	長者ヶ崎・大浜	シーズン前	<2~14	5	1.0~2.3	1.5	>1	7.7~8.2	無	A
		シーズン中	<2	<2	1.2~1.8	1.5	>1	8.2	無	AA
	一色	シーズン前	<2~24	7	0.8~2.5	1.5	>1	7.9~8.2	無	A
		シーズン中	<2	<2	1.4~1.9	1.6	>1	8.2~8.3	無	AA
	森戸	シーズン前	<2~32	10	1.1~1.7	1.5	>1	7.9~8.2	無	A
		シーズン中	<2	<2	1.5~1.9	1.8	>1	8.3~8.4	無	AA



2 生活環境施設等の衛生確保

(1) 浄化槽設置基数及び監視指導状況

浄化槽の設置届の受理及び立入検査等を行い、設置者等に対し適正な維持管理指導を実施しました。

ア 設置基数と監視指導件数

基数	市町別設置基数内訳			監視指導件数
	鎌倉市	逗子市	葉山町	
18,530	9,745	445	8,340	38

イ 浄化槽基数の推移（5年間）

年度	基数	市町別設置基数内訳		
		鎌倉市	逗子市	葉山町
2014（平成26）年度	19,795	10,718	475	8,602
2015（平成27）年度	19,779	10,724	466	8,589
2016（平成28）年度	19,725	10,694	462	8,569
2017（平成29）年度	18,679	9,751	455	8,473
2018（平成30）年度	18,530	9,745	445	8,340

ウ 大規模浄化槽の監視指導

処理対象人員	基数	監視指導件数
501～2,000人	4	4
2,001人以上	1	1
計	5	5

エ 浄化槽届出状況

区分	基数	市町別設置基数内訳		
		鎌倉市	逗子市	葉山町
新規基数	71	11	0	60
廃止基数	220	17	10	193

(2) 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況

保守点検業務が適正に行われるよう、営業所の監視指導を実施しました。

登録業者数	登録営業所数	内訳		監視指導件数
		管内営業所	管外営業所	
20	21	6	14	6

(3) 特定建築物施設数及び監視指導状況

特定建築物（建築延面積3,000㎡以上の特定用途に供する建物。学校は同8,000㎡以上のもの）の衛生的環境を確保するため、立入検査及び指導を実施しました。

用途	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
興行場	3 (3)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0
集会場	2 (2)	2 (2)	—	—	0
美術館	1	—	—	1	0
店舗	15	11	3	1	4
事務所	6 (5)	4 (3)	1 (1)	1 (1)	1
学校	8 (4)	6 (2)	2 (2)	—	0
その他の学校	2	—	—	2	0
旅館	8	5	—	3	4
遊技場	1	1	—	—	0
計	46 (14)	30 (8)	7 (4)	9 (2)	9

()内は公立施設等内訳

(4) 建築物登録業営業所数及び監視指導状況

衛生管理業務が適正に行われるよう、営業所の監視指導を実施しました。

業種	登録営業所数	市町別営業所数内訳			監視指導件数
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
清掃業	3	1	1	1	1
空気環境測定業	1	—	1	—	0
貯水槽清掃業	6	4	2	—	0
ねずみ昆虫等防除業	4	1	3	—	2
総合管理業	1	—	1	—	0
計	15	6	8	1	3

(5) 水道施設数及び監視指導状況

専用水道、簡易専用水道（受水槽の有効容量が10^m³を超える施設）及び小規模受水槽水道（受水槽の有効容量が10^m³以下の施設）について、維持管理指導を実施しました。

種別	施設数(葉山町)	監視指導件数
専用水道	2	2
簡易専用水道	57	11
小規模受水槽水道	73	1
計	132	14

(6) 住まいと環境衛生の推進

住環境に起因すると思われる健康被害の発生を防止するため、県民へ情報を提供するとともに個別相談を受け、必要に応じて居住環境調査を実施しました。

ア 相談処理状況

項目	室内空気環境	衛生害虫等	浄化槽	飲料水関係	その他
件数	1	24	30	5	17
					計
					77

イ 居住環境調査実施状況

項目	虫の同定
件数	2

(7) 温泉施設数及び監視指導状況

種別	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
源泉	6	4	1	1	3
利用施設	7	4	1	2	5

3 動物保護対策

(1) 飼えなくなった犬、猫の引き取り

区 分	頭 数	市 町 別 頭 数 内 訳		
		鎌倉市	逗子市	葉山町
犬	0	0	0	0
猫	0	0	0	0
計	0	0	0	0

(2) こう傷事故の発生状況

こう傷犬の狂犬病罹患の有無を確認するとともに、事故の再発防止のため飼い主に対し飼育管理指導を実施しました。

	件 数	市 町 別 件 数 内 訳		
		鎌倉市	逗子市	葉山町
こ う 傷 事 故	13	10	2	1

(3) 犬、猫等の苦情相談の処理状況

項 目	捕獲依頼	引取依頼	飼育公害	負傷猫	失踪保護	その他	計
苦 情 ・ 相 談 件 数	0	2	153	14	141	154	464

(参考事項)

市町の犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況

ア 犬の登録頭数

区 分	頭 数	市 町 別 頭 数 内 訳		
		鎌倉市	逗子市	葉山町
登 録 頭 数	16,471	10,426	3,347	2,698

イ 犬の登録頭数の推移

年 度	頭 数	市 町 別 頭 数 内 訳		
		鎌倉市	逗子市	葉山町
2014 (平成 26) 年度	17,288	10,938	3,748	2,602
2015 (平成 27) 年度	17,102	10,878	3,648	2,576
2016 (平成 28) 年度	17,102	10,864	3,608	2,630
2017 (平成 29) 年度	16,982	10,835	3,499	2,648
2018 (平成 30) 年度	16,471	10,426	3,347	2,698

ウ 犬の新規登録及び狂犬病予防注射の実施

区 分	頭 数	市 町 別 頭 数 内 訳		
		鎌倉市	逗子市	葉山町
新 規 登 録	1,083	667	208	208
狂 犬 病 予 防 注 射	12,386	7,799	2,634	1,953

4 医薬品等の安全性確保

(1) 薬局・医薬品販売業等施設数及び監視指導状況

薬局、医薬品販売業及び製造業等に対し、医薬品等の取扱い・管理状況等について監視指導を実施しました。

種 別	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数	
		鎌倉市	逗子市	葉山町		
薬 局	137	97	32	8	123	
医薬品販売業	店舗販売業	37	24	8	5	18
	卸売販売業	4	3	—	1	0
	小 計	41	27	8	6	18
薬局医薬品製造業	4	4	—	—	3	
薬局医薬品製造販売業	4	4	—	—	3	
医薬部外品等製造業・製造販売業	16	7	5	4	2	
高度管理医療機器等販売・貸与業	110	72	30	8	105	
管理医療機器販売・貸与業	553	389	119	45	238	
再生医療等製品販売業	1	1	—	—	0	
計	866	601	194	71	492	

(2) 薬局・医薬品販売業等許可・届出取扱い件数

種別	項目	新規許可	許可更新	許可証書換	許可証再交付	変更届	廃止届	その他	計
医薬品販売業	店舗販売業	2	3	1	—	124	1	—	131
	卸売販売業	—	—	—	—	—	—	—	0
	小 計	2	3	1	0	124	1	0	131
薬局医薬品製造業	—	1	—	—	—	3	—	4	
薬局医薬品製造販売業	—	1	—	—	—	3	—	4	
高度管理医療機器等販売・貸与業	12	7	8	—	85	10	—	122	
管理医療機器販売・貸与業	48	—	—	—	14	7	—	69	
再生医療等製品販売業	—	—	—	—	—	—	—	0	
計	74	33	24	0	829	32	9	1,001	

(3) 毒物・劇物販売業等施設数及び監視指導状況

毒物劇物による保健衛生上の危害を防止するため、毒物劇物販売業者、業務上取扱者等の監視指導を実施しました。

種 別	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数	
		鎌倉市	逗子市	葉山町		
毒物劇物販売業	一般販売業	51	36	11	4	31
	農薬用品目販売業	3	2	1	—	1
	特定品目販売業	1	—	1	—	0
	小 計	55	38	13	4	32
業務上取扱者	電気めっき業	1	1	—	—	1
	熱処理業	1	1	—	—	1
	小 計	2	2	0	0	2
毒物劇物製造業・輸入業	3	3	—	—	0	
特定毒物研究者	2	2	—	—	1	
計	62	45	13	4	35	

(4) 毒物・劇物販売業等登録・届出取扱い件数

種別	項目	新規登録	登録更新	登録票書換	登録票再交付	取扱責任者設置届	取扱責任者変更届	変更届	廃止届	計
		毒物 劇物 販売業	一般販売業	3	4	—	—	3	6	1
農薬用品目販売業	—		0	—	—	—	0	—	—	0
特定品目販売業	—		—	—	—	—	—	—	—	—
小計	3		4	0	0	3	6	1	2	19
業務取扱者	電気めっき事業	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	熱処理事業	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		3	4	0	0	3	6	1	2	19

(5) 麻薬等業務所数及び監視指導状況

麻薬等業務所に対し、麻薬等の適正管理について監視指導を実施しました。

種別	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数	
		鎌倉市	逗子市	葉山町		
麻薬業務所	診療施設(病院)	13	10	2	1	27
	〃(診療所)	114	70	36	8	6
	〃(動物診療所)	33	20	7	6	2
	小売業者	113	83	23	7	111
	卸売業者	0	—	—	—	—
	研究施設	6	6	—	—	7
向精神薬研究施設	5	5	—	—	5	
計		284	194	68	22	158

(6) 麻薬免許事務等取扱い件数

ア 麻薬取扱者免許関係

種類	項目	免許申請			変更届	廃止届	返納届	再交付	計
		新規	継続	計					
麻薬研究者		3	1	4	0	3	1	—	8
麻薬管理者		5	8	13	4	6	6	—	29
麻薬施用者		28	34	62	56	21	39	—	178
麻薬小売業者		11	5	16	29	7	6	—	58
麻薬卸売業者		—	—	—	—	—	—	—	0
計		47	48	95	89	37	52	0	273

イ 麻薬業務所関係

種別	項目	廃棄届	調剤済廃棄届	所有届	譲渡届	事故届	年間届	計
麻薬診療施設		17	59	6	3	10	155	250
麻薬小売業者		51	64	7	5	2	109	238
麻薬卸売業者		—	—	—	—	—	—	0
麻薬研究施設		2	—	—	—	—	6	8
計		70	123	13	8	12	270	496

ウ 向精神薬関係

種別	項目	登録申請	変更届	廃止届	年間届	事故届	計
向精神薬研究施設		—	—	1	5	—	6
診療施設・薬局		—	—	—	—	—	0
計		0	0	1	5	0	6

(7) 覚せい剤取扱者等数及び監視指導状況

覚せい剤取扱者等の指定を受けた者に対し、覚せい剤等の適正管理について、監視指導を実施しました。

種類	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
覚せい剤研究者	2	2	—	—	2
覚せい剤原料取扱者	1	1	—	—	0
計	3	3	0	0	2

(8) 覚せい剤指定事務等取扱い件数

種類	項目	新規申請	継続申請	再交付 変更届	廃止届	廃棄届	事故届	その他	計
覚せい剤研究者		1	—	—	1	—	—	5	7
覚せい剤原料取扱者		—	—	—	—	6	1	14	21
計		1	0	0	1	6	1	19	28

(9) 薬物乱用防止啓発活動

薬物乱用防止街頭キャンペーン、講演会及び学校等における薬物乱用防止教室を通して、薬物乱用防止の啓発を実施しました。また、関係機関及び団体で構成する地域連絡会を開催し、薬物乱用防止に関する連絡調整を行い、一層の普及啓発に努めました。

ア 啓発キャンペーン

月 日	場 所	内 容
7月17日	鎌倉駅周辺	「第68回“社会を明るくする運動”」と合同で実施し、啓発用リーフレット及び啓発物品を配布
7月20日	逗子駅周辺	「第68回“社会を明るくする運動”逗葉地区の集い」と合同で実施し、啓発用リーフレット及び啓発物品を配布
9月8日	神奈川県立 深沢高等学校	鎌倉市と連携し、文化祭会場で薬物標本等の展示・説明と啓発DVDの上映を行った。
9月9日	神奈川県立 七里ガ浜高等学校	鎌倉市と連携し、文化祭会場で薬物標本等の展示・説明と啓発DVDの上映を行った。
10月28日	鎌倉生涯学習 センター	「くすりと健康フェアかまくら2018」と合同で実施し、啓発用リーフレット及び啓発物品を配布
11月30日	鎌倉駅周辺	「青少年健全育成推進街頭キャンペーン」と合同で実施し、啓発用リーフレット及び啓発物品を配布

イ 薬物乱用防止教室

月 日	場 所	対 象	参加人員
6月22日	逗子市立沼間中学校	中学1～3年生及び教員	285
7月10日	逗子市立逗子中学校	中学1～3年生及び教員	355
10月22日	神奈川県立 逗子高等学校	高校2年生及び教員	280
12月5日	逗子市立久木中学校	中学2年生及び教員	168
2月6日	鎌倉市立 稲村ヶ崎小学校	小学6年生及び教員	24

ウ 地域連絡会

月 日	場 所	内 容	出席人員
1月30日	鎌倉保健福祉事務所	各機関及び団体における薬物乱用防止活動の状況 について	15

第7章 食品衛生課

食 品 衛 生 課 業 務

食品衛生法、食品表示法に基づき、食品関係営業の許認可及び監視指導、食品等の収去検査、食品衛生責任者等に対する講習会を行い、食中毒等の食品による危害の発生を防止し、食の安全・安心の確保を推進しています。

1 食品営業施設の許認可事務及び監視指導

食品衛生法に基づく営業許可、県条例に基づく営業許可、県条例に基づく報告営業及び給食施設について許認可事務を行うとともに、関連法令に基づく監視指導を実施し、食品事故の発生防止に努めました。また、調理師免許等の関係事務を行いました。

2 食品等の収去検査

食品等の収去検査において、消費量の多いものや食品事故の原因となりやすい食品等を重点的に食品営業施設から抜き取り検査し、不良食品等の排除に努めました。

3 普及啓発の実施

食品営業者または食品衛生責任者等を対象に、食品の衛生的取扱い、食中毒予防、自主管理等についての講習会を業種別、地域別等に開催し、食品衛生知識の普及向上に努めました。

4 食中毒等の処理

食中毒が疑われる事例に際し、原因究明のための迅速かつ的確な調査を実施し、食品営業者に対し、適切な措置を講ずるための指導に努めました。

5 食品関係等の苦情処理

消費者等からの食品等の苦情について迅速かつ的確な処理を行い、再発防止に努めました。

1 食品営業施設の許認可事務及び監視指導

食品営業施設の許認可事務を行うとともに監視指導を実施し、食品事故の発生防止に努めました。
また、調理師免許等の関係事務を実施しました。

(1) 許可を要する営業施設

種別	項目	市 町 別 施 設 数				許 可 取 扱 数		廃 業 数	監 視 指 導 件 数
		鎌倉市	逗子市	葉山町	計	継 続	新 規		
飲 食 店 営 業		2,431	420	318	3,169	290	381	301	2,422
菓子(パンを含む)製造業		280	51	49	380	31	30	20	223
乳 処 理 業		—	—	—	0	—	—	—	—
特別牛乳搾取処理業		—	—	—	0	—	—	—	—
乳 製 品 製 造 業		5	—	—	5	—	—	—	4
集 乳 業		—	—	—	0	—	—	—	—
魚 介 類 販 売 業		150	38	34	222	17	16	17	177
魚介類競り売り営業		1	1	—	2	—	—	—	—
魚肉練り製品製造業		1	1	—	2	—	—	1	3
食品の冷凍・冷蔵業		—	—	—	0	—	—	—	—
食品の放射線照射業		—	—	—	0	—	—	—	—
缶詰又は瓶詰食品製造業		1	—	1	2	—	—	1	—
喫 茶 店 営 業		192	20	28	240	46	19	27	80
あ ん 類 製 造 業		1	—	—	1	—	0	0	9
アイスクリーム類製造業		9	—	2	11	—	2	1	7
乳 類 販 売 業		245	62	35	342	38	18	36	187
食 肉 処 理 業		2	1	—	3	—	—	1	5
食 肉 販 売 業		126	40	25	191	18	11	13	153
食 肉 製 品 製 造 業		3	—	1	4	—	—	—	7
乳酸菌飲料製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
食用油脂製造業		2	—	—	2	—	—	—	—
マーガリン又はショートニング製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
み そ 製 造 業		2	—	1	3	—	1	1	3
し ょ う 油 製 造 業		1	—	—	1	—	—	—	—
ソ ー ス 類 製 造 業		—	—	—	0	—	—	—	—
酒 類 製 造 業		2	1	1	4	1	1	—	5
豆 腐 製 造 業		8	1	—	9	—	—	2	13
納 豆 製 造 業		1	—	—	1	—	—	—	2
め ん 類 製 造 業		8	1	—	9	—	1	—	7
総 菜 製 造 業		24	6	6	36	2	3	—	18
添 加 物 製 造 業		—	—	1	1	1	—	—	1
清 涼 飲 料 水 製 造 業		—	—	—	0	—	—	—	—
氷 雪 製 造 業		—	—	—	0	—	—	—	—
氷 雪 販 売 業		1	2	2	5	—	—	—	5
小 計 (1)		3,496	645	504	4,645	444	483	421	3,331
県 魚 介 類 行 商		4	2	1	7	1	0	0	1
県 魚 介 類 加 工 業		13	7	7	27	2	3	1	34
県 は っ 酵 乳 等 販 売 業		9	1	1	11	2	0	2	7
小 計 (2)		26	10	9	45	5	3	3	42
計		3,522	655	513	4,690	449	486	424	3,373

(2) 許可を要しない営業施設

種別	項目	市 町 別 施 設 数				新規件数	廃業件数	監視指導件数
		鎌倉市	逗子市	葉山町	計			
給食施設	学 校	27	8	6	41	—	—	60
	病 院 ・ 診 療 所	4	2	2	8	—	—	2
	事 業 所	1	—	—	1	—	—	2
	そ の 他	53	20	12	85	9	6	63
乳 搾 取 業		—	—	—	0	—	—	—
食 品 製 造 業		126	20	43	189	13	11	48
野 菜 ・ 果 物 販 売 業		313	92	50	455	28	27	176
総 菜 販 売 業		212	64	32	308	22	20	214
菓 子 (パ ン を 含 む) 販 売 業		721	155	108	984	65	43	408
食 品 販 売 業 (上 記 以 外)		826	181	129	1,136	80	82	636
器 具 ・ 容 器 包 装 ・ お も ち ゃ の 製 造 又 は 販 売 業		193	43	27	263	11	12	141
食 品 添 加 物 の 製 造 業		—	—	1	1	—	—	1
食 品 添 加 物 販 売 業		25	5	6	36	2	3	10
氷 雪 採 取 業		—	—	—	0	—	—	—
計		2,501	590	416	3,507	230	204	1,761

(3) 営業施設数の年度別推移 (5年間)

種 別		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		(平成26年度)	(平成27年度)	(平成28年度)	(平成29年度)	(平成30年度)
許 可 を 要 す る 施 設	政 令 分	4,381	4,474	4,544	4,583	4,645
	条 例 分	43	42	42	45	45
許 可 を 要 し な い 施 設		3,214	3,381	3,381	3,480	3,507

(4) 調理師免許等関係事務の取扱い

区 分	新 規	書 換	再 交 付
調 理 師	64	4	4
製 菓 衛 生 師	3	—	—
ふ ぐ 包 丁 師	1	2	—
計	68	6	4

2 食品等の収去検査

消費量の多いものや食事故の原因となりやすい食品等を重点的に食品営業施設から抜き取り検査し、不良食品等の排除に努めました。

(1) 食品等の品目別検査結果

品目	項目	収去 検体数	不適 検体数	不適内訳	
				細菌試験	理化学試験
魚介類		5	0	0	—
冷凍食品		—	—	—	—
魚介類加工品 (缶詰・瓶詰を除く)		2	0	0	0
肉卵類及びその加工品 (缶詰・瓶詰を除く)		2	0	0	0
乳及び乳製品		1	0	0	—
乳類加工品		—	—	—	—
アイスクリーム類・氷菓		8	0	0	—
穀類及びその加工品 (缶詰・瓶詰を除く)		5	0	0	0
野菜類・果物及びその加工品 (缶詰・瓶詰を除く)		7	0	0	0
菓子類		27	0	0	—
清涼飲料水		—	—	—	—
酒精飲料		—	—	—	—
缶詰・瓶詰食品		—	—	—	—
その他の食品		68	0	0	—
添加物		—	—	—	—
器具及び容器包装		—	—	—	—
おもちゃ		—	—	—	—
計		125	0	0	0

(2) 検体数及び不適検体数の年度別推移（5年間）

区分	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)
検体数	135	135	123	125	125
不適検体数	3	0	0	1	0

3 普及啓発の実施

食品営業者または食品衛生責任者等を対象に、食品の衛生的取扱い、食中毒予防、自主管理等について講習会を業種別、地域別等に開催し、食品衛生知識の普及向上に努めました。

・食品衛生講習会の実施状況

区分		開催回数	参加人員	内 容
営業者関係	食品衛生責任者	32	1,872	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生管理運営基準 ・食中毒予防
	上記以外	2	52	
	計	34	1,924	
消費者		5	117	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒予防

4 食中毒等の処理

食中毒が疑われる事例の発生に際し迅速かつ的確な調査を実施し、原因究明に努めました。食中毒と決定した事例は1件ありました。

・食中毒の発生状況

発生月日	摂食者数	患者数	死亡者数	原因食品	病因物質	原因施設
4月6日	28	11	0	4月5日に提供された食事	ノロウイルス	飲食店営業 (一般食堂)
8月31日	5	2	0	8月30日及び9月3日に提供された食事	腸炎ビブリオ	飲食店営業 (すし屋、弁当屋、総菜屋)
12月22日	39	24	0	12月21日及び22日に提供された食事	ノロウイルス	飲食店営業 (そば屋)

5 食品関係等の苦情処理

食品等の苦情について迅速かつ的確な処理を行い、再発防止に努めました。

(1) 食品等の苦情処理

種別	項目	異物混入	かび	腐敗変敗	異味異臭	不衛生	容器包装の不良	有症情	その他	計
施設等に関するもの		—	—	—	1	20	—	—	19	40
食品に関するもの	乳・乳製品・乳類加工品 (直接飲用に供する物)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	乳・乳製品・乳類加工品 (上記以外の物)	1	—	—	1	—	—	—	—	2
	魚介類及びその加工品	1	—	—	—	—	—	6	2	9
	卵・肉類及びその加工品	4	—	—	1	2	—	—	4	11
	穀類及びその加工品	—	—	—	1	—	—	—	—	1
	豆類及びその加工品	—	—	—	2	—	—	—	—	2
	野菜類及びその加工品	4	—	—	2	—	—	—	—	6
	菓子類	1	1	—	1	2	—	4	—	9
	複合調理食品	8	—	—	1	2	—	27	1	39
	その他の食品	1	—	—	1	2	—	10	0	14
小計		20	1	0	10	8	0	47	7	93
計		20	1	0	11	28	0	47	26	133

(2) 苦情処理件数の年度別推移(5年間)

年度	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)
件数	98	77	148	104	133